

# 国東市歴史体験学習館年報

弥生のムラ 安国寺集落遺跡公園

平成 18 年度

国東市歴史体験学習館



## はじめに

国東市歴史体験学習館は、国東市の文化遺産である国史跡安国寺集落遺跡を整備し、保存するとともに、「知る・創る・触れる・育てる」をモットーに弥生時代の疑似体験ができる教育施設として設置されました。

当館は、収集・展示等の博物館活動をはじめ、安国寺集落遺跡公園を活用した古代びとの技や知恵を遊びながら学ぶ体験学習施設や地域住民が豊かな文化生活を営むための文化施設としても活用されています。本年度は、国見町・国東町・武蔵町・安岐町4町が合併して新しく国東市歴史体験学習館となりました。市内の児童・生徒をはじめ市民に親しまれる館を目指して努力しています。

館主催の諸行事を通して、弥生時代終末の安国寺集落遺跡を理解していただくとともに、弥生びとの疑似体験を体感しながら自ら考え行動する場、市民の憩いの場としてより多くの方々にご利用いただけるよう取組んでいます。また、豊かな文化財が残っている国東を訪れた方々に、国東の歴史・文化財を紹介し、国東特有の文化への理解を広める施設として活用を図ります。

最後になりましたが、各事業におきまして、弥生のムラ インストラクター協議会の皆様をはじめ、老人クラブ・市内中学生・高校生ボランティア等多くの方々の御支援・御協力を賜り心より感謝申し上げます。今後とも、皆様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年3月

弥生のムラ 国東町歴史体験学習館

館長 松井 正

# 目 次

## 平成17年度

I	国東市歴史体験学習館の概要	1
II	安国寺集落遺跡の概要	1
III	館日誌	2～3
IV	事業の内容	4
	1 展示部門	4
	1) 常設展示	4
	2) 特別展示	4
	3) 映像ホール	4
	4) 企画展示	5
	2 教育普及部門	5
	1) 郷土史講座	5
	2) 夏休み郷土史教室	6
	3) わくわく探検隊	6
	4) 土曜日ウォッチング	6
	5) 弥生のムラインストラクター養成講座	6
	6) 古代土器づくり教室	7
	7) かずら工芸教室	7
	8) 機織り教室	7
	9) 刊行物	8
	10) 広報活動	8
	3 体験学習部門	8
	1) 常設体験	8
	①勾玉づくり	8
	②火おこし	8
	③土器づくり	8
	④石器づくり	8
	⑤プラホビー	8
	2) 企画体験	9
	①小中学校総合学習	9
	②教科学習	10
	③その他	10
	④公園利用	10
	3) 弥生のムラ年中行事	11
	4 弥生のムラ祭り	12
	1) 秋まつり	12
	2) 春まつり	13
	5 講演会	13
	1) 企画展講演会	13
	6 中国交流事業	14
	7 協議会・委員会	15
	1) 国東市歴史体験学習館協議会	15
	2) 弥生のムラ小中学校連絡協議会	16
	3) 中国交流事業実行委員会	16
	4) 弥生のムラインストラクター協議会	17
V	館機構	18
VI	施設の概要	19
VII	平成18年度入館者・体験者数	20
VIII	収蔵資料	20
	1) 寄贈資料	20
	2) 寄託資料	20
	3) 五節句に係る寄託資料	20
	4) 購入図書	20
	5) 寄贈図書	21
IX	国東市歴史体験学習館条例・規則	28

## I 国東市歴史体験学習館の概要

本施設は、弥生時代終末から古墳時代初頭の安国寺集落遺跡を通じた、①保存と活用、②市民の憩いの場、③青少年の体験学習の場、また④高齢者の生涯学習の場となるよう歴史・文化・観光の総合拠点として国東市が設立した。

①遺跡は、弥生時代の原風景に近い整備を行うことによって、歴史や文化財を正しく評価し、文化財の重要性を理解し郷土への誇りを養う施設とした。

②遺跡から出土した種子などの樹木を植え、野鳥が訪れ、四季折々の花が咲く弥生の原風景を再現した憩いの場として、市民が親しみやすい施設とした。

③安国寺集落遺跡について学習し、弥生びとの擬似体験を通して《知る・考える・育てる・創る》をモットーに、弥生びとの知恵や技を学び「自ら考え」「自ら行動し」「遊ぶ」場として、青少年の体験学習施設とし、学校週5日制に伴う生徒の学習活動や総合学習など学校教育と連携した教育施設としての役割を果たすことができる施設とした。

④ボランティア精神に基づき、弥生のムラを訪れた方々に、これまで培った自分の《技や時間》を提供し、自らも豊かな文化生活を築こうとしている方々を対象としたインストラクター養成講座を開設し、生涯学習施設としての館事業の援助活動をおこなった。

## II 安国寺集落遺跡の概要

安国寺遺跡は、昭和24年から27年にかけて初めて発掘調査が行われ、土器は、東九州の弥生時代後期を代表する標識土器「安国寺式土器」と命名された。また、弥生の炭化米を出土した遺跡として「登呂遺跡」に対して「西の登呂」と呼ばれるなどの脚光をあびた。

昭和53年からの大規模圃場整備事業に伴い、安国寺遺跡の遺構確認調査を昭和60年から63年に行い、その結果、高床建物の建築材や農具や機織りなどの木製品が良好な状態で出土し、学術的に高い評価を受けた。

こうした遺跡の重要性から地元地権者の方々のご協力により、遺跡の永久保存が決定し、平成4年4月に国史跡になった。

「ふるさと創生基金」の活用により、「安国寺遺跡整備」を願う町民の声が高まり、国東町は専門委員・行政による「史跡安国寺集落遺跡調査・整備検討委員会」、地元住民・各団体代表による「史跡公園推進委員会」を平成4年7月に発足させ、遺跡の調査と整備について諮問をした。

以来、委員会で調査検討の結果、平成6年3月に「史跡安国寺集落遺跡整備構想」の答申を受けた。この間、平成5年度には、国・県の補助を受け、国史跡地約20,600㎡、隣接地22,800㎡（町単独事業）の用地取得を行った。

答申後も整備検討委員会を開催し、平成8年1月に史跡整備基本方針・基本設計・実施計画の作成を行い、国・県に史跡整備事業の要望を申請した。その結果、平成8年度に国の補助事業として決定された。

平成17年度は、国・県の補助を受け、平成16年度の台風災害復旧事業を全て終了した。

### Ⅲ 館日誌

- 4月2日 国東ロータリークラブ体験・見学
- 4月14日 「端午の節句」武者飾り展示開始
- 4月15日 大恩子ども館ふれあい遠足



国東小学校遠足

- 4月18日 国東小学校歓迎遠足  
弥生のムラ インストラクター協議会総会
- 4月27日 県広報公聴課主催「おおいた情報大事典」取材
- 5月5日 国東市歴史体験学習館開館5周年記念事業  
「弥生のムラから初誕生」・「弥生のムラのこどもの日」  
弥生のムラ年中行事「端午の節句」
- 5月14日 第1回わくわく探検隊  
大分県探鳥会開催
- 5月24日 第1回機織り教室
- 5月26日 由布市狭間町七歳司老人会見学
- 5月27日 第1回郷土史講座  
第1回かずら教室
- 5月28日 県民すこやかスポーツ祭り
- 5月31日 「端午の節句」武者飾り展示終了
- 6月3日 第2回わくわく探検隊  
土曜日 ウォッチングホテルウォッチング
- 6月4日 日出町一北子供会見学・体験
- 6月6日 大分市日岡小学校クラス会見学
- 6月8日 わさし苑「遠遊会」公園利用
- 6月13日 国東小学校5年生米づくり：田植え  
杵築市郷土史研究会見学
- 6月14日 学校教育課「フレンドリーひろば」(適応指導教室)芋植え
- 6月15日 来浦小学校4・5年生米づくり：田植え
- 6月16日 第2回郷土史講座  
豊崎幼稚園・富来幼稚園(2園)米づくり：田植え
- 6月17日 別府市やまなみ児童クラブ体験・見学
- 6月20日 上国崎小学校4・5年生見学
- 6月23日 弥生のムラ インストラクター養成講座
- 6月24日 第2回かずら工芸教室  
中津市生涯学習大学見学・体験  
臼杵市中央保育所体験
- 6月25日 別府大学考古学研究会見学
- 6月27日 富来小学校6年生体験・見学  
朝来小学校6年体験・見学

- 6月28日 第2回機織り教室
- 6月29日 第1回弥生のムラ小中学校連絡協議会の開催
- 6月30日 学校教育課「フレンドリーひろば」(適応指導教室)体験  
NHKひるまえスタジオで「七夕」PR生放送  
熊本大学理蔵調査室借用資料返却
- 7月1日 弥生のムラ年中行事「七夕」  
土曜日ウォッチング  
弥生のムラインストラクター養成講座
- 7月2日 別府大学博物館実習見学・体験
- 7月8日 宇佐市安心院子子ども教室見学・体験
- 7月13日 旭日幼稚園体験  
放送大学大分学習センター見学・体験
- 7月14日 学校教育課「フレンドリーひろば」(適応指導教室)体験
- 7月18日 豊崎幼稚園・富来幼稚園(2園)米づくり：田草取り  
国東小学校5年生米づくり：田草取り
- 7月21日 第1回国東市歴史体験学習館協議会開催
- 7月22日 第3回かずら工芸教室  
来浦小学校4・5年生米づくり：田草取り
- 7月23日 第3回郷土史講座視察探訪  
第3回わくわく探検隊
- 7月26日 第3回機織り教室
- 8月1日 2泊3日 「古代への旅」  
～3日
- 8月2日 土曜日ウォッチングスターウォッチング
- 8月5日 杵築市野田子ども会体験・見学
- 8月6日 北九州市陣山子ども会体験・見学
- 8月8日 大分市大分大学付属小学校生体験・見学
- 8月11日 学校教育課「フレンドリーひろば」(適応指導教室)  
芋の収穫
- 8月12日 第4回わくわく探検隊
- 8月22日 武蔵子ども教室体験・見学
- 8月23日 第4回機織り教室
- 8月25日 第4回郷土史講座  
文化財調査員国東町視察研修  
学校教育課「フレンドリーひろば」(適応指導教室)  
自主学习
- 9月1日 大分県博物館協議会出席(県立歴史博物館)
- 9月2日 中津市児童相談所体験
- 9月3日 ロータリークラブ草取りボランティア
- 9月5日 豊崎幼稚園・富来幼稚園(2園)米づくり：案山子づくり・体験
- 9月12日 排水検査
- 9月15日 第5回郷土史講座視察探訪
- 9月16日 第5回わくわく探検隊
- 9月20日 大分市矢車草婦人学級見学・体験
- 9月23日 第3回くにさき弥生のムラ短歌大会開催
- 9月27日 第5回機織り教室

- 9月28日 上小原老人クラブ草取りボランティア  
安国寺老人クラブ草取りボランティア
- 10月5日 城崎中学校1年生見学・体験  
日田市丸の内老人クラブ見学
- 10月7日 津久見市カソリック津久見幼稚園
- 10月10日 国東小学校米づくり：稲刈り・脱穀  
弥生のムラ インストラクター協議会秋祭り打合せ
- 10月12日 大分市田尻小学校6年生体験・見学
- 10月13日 来浦小学校米づくり：稲刈り  
豊崎幼稚園・富来幼稚園(2園)米づくり：稲刈り  
・体験
- 10月15日 第6回郷土史講座視察探訪
- 10月21日 第6回弥生のムラ秋祭り  
国東市合併記念企画展  
「国東彩発見！～よみがえる古代国東の暮らしと祈り～」  
合併記念講演会「国東のあけぼのー弥生のムラの暮らしと祈りー」  
第6回わくわく探検隊  
第7回郷土史講座
- 10月24日 別府市「第2回ふるさとガイド現地学習」見学  
旭日小学校鑑練遠足
- 10月25日 国見町パーキンソン病友の会見学
- 10月26日 宇佐市封戸小学校PTAふれあい活動体験・見学
- 10月28日 国東小学校PTA親子ふれあい活動公園利用
- 10月29日 別府大学博物館実習体験・見学
- 11月2日 オレンジ保育所遠足  
中津市明園寺見学
- 11月3日 別府市原町自治会見学
- 11月4日 かずら工芸教室研修
- 11月7日 小原小学校1・2年生社会見学・体験
- 11月8日 福岡県京都郡刈田町立北公民館見学
- 11月11日 杵築市大内小学校体験・見学  
国見町ちよるちよる祭り参加
- 11月12日 別府大学文化財学科見学  
国見町ちよるちよる祭り参加
- 11月14日 旭日幼稚園体験・公園利用  
城崎中学校1年生体験
- 11月15日 土曜日ウォッチングバードウォッチング  
城崎中学校1年生体験
- 11月16日 武蔵東小学校年生社会見学・体験
- 11月17日 国東市歴史体験学習館協議会視察研修
- 11月18日 第7回わくわく探検隊
- 11月19日 古代土器づくり教室
- 11月22日 第6回機織り教室
- 11月26日 企画展記念講演会「文化財の宝石箱 国東市」  
立正佼成会速見支部見学
- 11月29日 佐賀県古野ヶ里町文化財審議委員視察  
文化庁文化財鑑査官視察
- 12月2日 県アカデミアの会見学  
かずら工芸教室
- 12月3日 杵築市豊洋小学校見学・体験
- 12月6日 日田市三花地区会見学
- 12月7日 岡山県古代吉備文化財センター職員見学
- 12月15日 佐賀県教育庁文化課職員見学
- 12月16日 第8回わくわく探検隊
- 12月17日 古代土器づくり教室
- 12月20日 第7回機織り教室
- 12月23日 かずら工芸教室
- 1月18日 九州大学文学部大学院生見学
- 1月19日 第9回郷土史講座  
土器づくり教室土器焼き
- 1月21日 土器づくり教室
- 1月24日 第8回機織り教室
- 1月25日 かずら工芸教室
- 1月30日 大分テレコム「七日 正月」PR出演
- 2月1日 南安岐小学校4年生見学  
中国交流事業実行委員会開催
- 2月4日 弥生のムラ年中行事「七日 正月」
- 2月8日 旭日幼稚園体験
- 2月14日 静岡市登呂博物館職員視察研修
- 2月18日 第6回くにさき弥生のムラ春祭り  
「俳句・短歌・写真コンテスト」表彰式
- 2月20日 山口県下関市立考古博物館職員研修
- 2月23日 古代土器づくり教室  
～24日
- 2月28日 第9回機織り教室閉講式
- 3月1日 オレンジ保育所お別れ遠足  
テレビ東京放映の事前下見
- 3月4日 弥生のムラ年中行事「雛祭り」
- 3月8日 大恩児童館お別れ遠足
- 3月9日 三重県奇宮博物館職員視察
- 3月13日 テレビ東京PR撮影
- 3月14日 NPO法人アスバル見学
- 3月22日 中国交流事業浙江省博物館職員国東市に来日
- 3月23日 忠徳交流事業文化講演会及びシンポジウム開催
- 3月24日 中国交流事業浙江省博物館職員見学
- 3月28日 第10回郷土史講座
- 3月30日 国東市文化財調査委員会



ちよるちよる祭り参加

## IV 事業の概要

### 1 展示部門

館内展示は、国史跡安国寺集落遺跡からの出土品を主とし、国東の歴史と自然の紹介、考古資料と民具による道具の変遷、中国浙江省河姆渡遺跡出土品（複製品）の展示、映像による遺跡紹介及び体験メニュー紹介の映像ホールに分かれています。

屋外展示は、発掘調査により出土した遺構と建築部材を基に等身大の高床建物8棟（住居と倉庫を各4棟）と平地式建物1棟計9棟を史跡地内に復元し、出土種子などを主に植栽をおこない、弥生のもとの風景に近い整備をしており、また園内には、隣接地で出土した竪穴住居4棟を復元しています。

#### 1) 常設展示

(国東の自然と歴史)

国東半島の地形をランドサット写真で紹介し、国東の歴史や文化財について歴史年表パネルや写真展示をしています。

(弥生びとの暮らし)

人と道具の変遷を出土品と民具を、狩猟・製鉄・焼き物・米づくり・編み物・機織りなどの作業別に分けて展示し、実際に唐箕や石臼や糸車に、触れたり動かしたりすることにより、古代びとの知恵や技を体験できるコーナーを設けています。

(安国寺集落遺跡の世界)

昭和20年代の発掘調査の様子や成果を写真パネルで紹介し、安国寺式土器や高床建物の部材の展示をはじめ、出土状況写真や復元模型・小児土器棺の出土状況の復元などを展示し、弥生時代終末の遺跡の特色がわかる展示をしています。

#### 2) 特別展示

(河姆渡遺跡と安国寺集落遺跡の世界)

中国浙江省の河姆渡遺跡と安国寺集落遺跡は、年代的な隔たりはありますが、高床住居を復元整備した遺跡としての共通点を通して、姉妹関係を結びました。

河姆渡遺跡出土品の複製品と安国寺遺跡出土品を展示しています。

#### 3) 映像ホール

大型スクリーンで遺跡や体験学習館を紹介し、遺跡への理解を深め、各種体験マニュアルを体験学習や総合学習の受け入れに活用しています。

- ① 再現！安国寺集落遺跡の高床住居 (9分57秒)
- ② 体験！弥生びとの生活 (2分30秒)
- ③ 弥生の土器を作ろう (2分57秒)
- ④ 雲南焼きで土器を焼こう (3分39秒)
- ⑤ 火をおこしてみよう (1分54秒)
- ⑥ 弥生びとの料理を作ってみよう (5分00秒)
- ⑦ 弥生の布を織ってみよう (4分25秒)
- ⑧ 弥生の装飾品まが玉を作ろう (2分05秒)

#### 4) 企画展示

「国東 彩発見! —よみがえる古代国東の暮らしと祈り—」

期 間 平成18年10月21日(土)～平成19年3月15日(木)

場 所 映像ホール

内 容 国東市の誕生を記念して、市民に市内の遺跡から出土した縄文時代から古代までの遺物を展示紹介しています。羽田遺跡出土の獣形把手土製品、一ノ瀬古墳出土の鳥舟付器台など県内でも貴重な遺跡を有する国東市であることへの理解を深め、歴史資料として活用を図りました。

入館者 約1,111名



## 2 教育普及部門

### 1) 郷土史講座(成人)

歴史・考古・民俗・地理・自然環境など、様々な分野から郷土(くにさき)の歴史を学習し、地域の伝統文化や社会について理解を深め、充実した潤いのある生活をすごせるよう、歴史学習を通じた生涯学習の一講座として本講座を実施しました。また、国東地域に多数存在する住民共有の財産である文化財を愛し、後世に伝え保護する「文化財保護思想」の普及を図りました。

講座生 51名

回	開講日	内 容	種 類	講 師	出席者数
1	5月27日	開講式・「国東の祭りと芸能」	講 話	段上達雄	40名
2	6月16日	「国東半島における中世石造物の様相について」	講 話	渡辺文雄	35名
3	7月23日	武蔵町と安岐町の文化財探訪	現地研修	職 員	34名
4	8月25日	「国東のムラと田染荘」	講 話	櫻井成昭	25名
5	9月15日	豊後高田市の文化財探訪	現地研修	職 員	35名
6	10月15日	国見町と国東町の文化財探訪	講 話	職 員	28名
7	10月21日	合併記念講演会「国東のあけぼの」	講 話	下村 智	20名
	11月26日	「文化財の宝石箱 国東市—その見方と味わい方—」	講 話	渋谷忠章	
8	1月19日	「国東の六郷満山寺院と修正鬼会」	講 話	金田信子	20名
9	2月24日	国東町の文化財探訪「岩戸寺修正鬼会」	研修視察	職 員	
10	3月28日	閉講式 「宇佐・国東の世界遺産」	講 話	飯沼賢司	35名



国東市郷土史講座 田染荘「小崎」見学 平成18年9月15日

## 2) 夏休み郷土史教室

自然と文化遺産に恵まれた国東市の弥生のムラ歴史体験学習館を拠点に、異年齢の仲間と共同宿泊しながら、施設の特色を生かした古代体験や神仏習合の山岳信仰で知られる国東の六郷満山寺院を訪ね、体験型の歴史学習を行い、次世代を担う青少年の健全育成を図るために実施しました。

参加者 31名（申込み46名抽選にて35名受入れ、4名欠席）

開講日	内 容	出席者数
8月1日	出合いのつどい・自己紹介・記念写真 レクリエーション（古代楽器演奏）・食器づくり 夕食づくり・読み聞かせ・保健指導・古代住居宿泊	31名
8月2日	朝食づくり・くにさきの山を歩こう（国見町旧千燈 寺跡）・くにさきの温泉に入ろう（国見町赤根温泉） 夕食づくり・スターウォッチング・保健指導・学習 館宿泊	30名
8月3日	人と自然の歴史について考えよう（講話）・朝食・ 活動のまとめ・別れのつどい	31名

## 3) わくわく探検隊

市内の児童・生徒を対象に古代びとの生活に学ぶ知恵はもとより、郷土の歴史や伝統文化、自然環境などを『体験の中で楽しく』学びながら、子どもたちが様々な経験を通して感性を磨き、尚且つ心の豊かな人間として成長することをねらいとして実施しました。

講座生 9名

回	開講日	内 容	種 類	講 師	出席者数
1	5月14日	開校式「古代人と鳥について」	講話・探索	職 員	3名
2	6月 3日	ホタルかごを作ってみよう	体 験	職 員	0名
3	7月23日	三浦梅園資料館と吉弘楽見学	体 験	職 員	5名
4	8月12日	押し花、押し草採集	体 験	職 員	4名
5	9月16日	押し花、押し草でシオリを作ろう	体 験	職 員	2名
6	10月21日	お祭りに参加しよう	体 験	職 員	4名
7	11月18日	園内バードウォッチング巣箱作り	体 験	職 員	4名
8	12月16日	勾玉キャンドルを作ろう	体 験	職 員	4名
9	2月 4日	昔ながらの正月遊び	体 験	職 員	3名
10	3月 4日	ひな節句に参加しよう	体 験	職 員	3名

## 4) 土曜日ウォッチング

弥生のムラ公園内外の自然観察をとおして、自然環境を観る目を養うとともに、自然環境保護精神の高揚を図ることを目的として実施しました。

回	開講日	内 容	種 類	講 師	出席者数
1	6月 3日	ホタル籠づくり、ホタル観察	ホタル	職 員	9名
2	7月 2日	川ウォッチング	川	職 員	0名
3	8月 2日	スターウォッチング	スター	職 員	35名
4	8月12日	川や森ウォッチング	川	職 員	2名
5	11月15日	バードウォッチング巣箱作り	バード	職 員	3名

## 5) 弥生のムラ インストラクター養成講座

今年度は応募者1名でしたが、館内説明や体験指導を熱心に学び、講座及び教室などに積極的に参加いただいた。今後も弥生のムラインストラクターボランティア育成に努めます。

## 6) 古代土器づくり教室

古代土器の製作技術や機能・用途などの謎を解きながら古代土器の再現に挑戦し、この教室で養われた技術を弥生のムラの館事業へ積極的に取組んでいただきました。雛節句には、約70組の素焼き雛人形を作り、参加者に大変好評でした。

講座生 10名

回	開講日	内 容	種 類	講 師	出席者数
1	11月19日	「縄文土器と弥生土器」・小皿づくり	講話・体験	職 員	5名
2	12月17日	「古代の食器」・椀づくり	講話・体験	職 員	5名
3	1月20日	「武士の食器」・皿づくり	講話・体験	職 員	5名
4	2月23日	「古代の陶磁器」	体 験	職 員	5名
	～25日	〃	講話・体験	職 員	5名
5	2月28日	ひな人形素焼き			
6	3月 1日	ひな人形試作品づくり			
7	3月 4日	素焼き雛人形づくり指導・閉講式	体験・講話	職 員	5名

## 7) かずら工芸教室

古代より天然素材を生活の中で有効に活用してきた先人の知恵を学び、現在人に希薄な、物をつくる喜びや道具を大切に作る心、自然の恵みへの感謝の心などを参加者に実体験してもらうとともに、かずら文化の継承に役立てることを目的としました。

講座生 8名

回	開講日	内 容	種 類	講 師	出席者数
1	5月27日	開講式 須玖の甕かごづくり	講話・体験	戸田 肇	6名
2	6月24日	すえおき型かご①づくり	体 験	戸田 肇	7名
3	7月22日	すえおき型かご②づくり	体 験	戸田 肇	5名
4	11月 4日	講師工房へ研修	体 験	戸田 肇	5名
5	12月 2日	野ぶどうのすだれづくり	体 験	戸田 肇	5名
6	12月23日	パンパケットづくり	体 験	戸田 肇	5名
7	1月27日	丸形つぼづくり	体 験	戸田 肇	5名

## 8) 機織り教室

安国寺集落遺跡から出土している地機織り道具などをもとに、1800年前の弥生のムラびとに想いをはせながら、弥生びとの知恵を学び、機織りを通してお互いの生活を豊かなものにするると同時に、郷土の文化・文化財を再認識する一手段として取組んでみました。

講座生 初級 9名、中級 10名

回	開講日	内 容	種 類	講 師	出席者数
1	5月24日	開講式・初級 高機一裂き織 中級 高機一模様織	講話・実技	木村加代子	8名 7名
2	6月28日	初級 高機一平織り・裂き織 中級 高機一模様織	実技 実技	木村加代子 木村加代子	8名 8名
3	7月26日	初級 高機一平織り・裂き織 中級 高機一模様織	実技	木村加代子	9名 7名
4	8月23日	染めの用途と材料について」	実技	木村加代子	6名 6名
5	9月27日	初級 高機一平織 中級 高機一平織	実技	職 員	5名 6名
6	11月22日	初級・中級一編布織 中級 高機一平織り	実技	職 員	6名 3名
7	12月20日	初級・中級一編布織 中級 高機一平織り	実技	職 員	6名 4名
8	1月24日	初級 編布織 中級 高機一平織り	実技	職 員	5名 4名
9	2月28日	閉講式	実技	職 員	6名 5名



開講式



アンギン編み

## 9) 刊行物

平成18年度『国東市歴史体験学習館年報』2007.3

## 10) 広報活動

国東市合併に伴い国見町のちよるちよる祭りに参加し、まが玉づくりや火おこし体験指導などを行いました。

- ①弥生のムラ事業カレンダー
- ②学習館ニュースの発行
- ③テレビでの広報活動
- ④市内諸行事への参加

## 3 体験学習部門

### 1) 常設体験

弥生びとの知恵や技をまが玉づくりや土器づくり、火おこしなどの擬似体験を通して学び、自らが考えて行動する力を養うことを目的としています。原則として小学校4年生以上を対象とし、3年生以下は保護者同伴を基本とします。

	体験種目	体験内容	時間	料金
1	まが玉づくり	5.0×3.5×1.5の滑石を使用	1時間30分	300円
		ピンク・水墨・モザイクなど石の種類	1時間	200円
		3.5×3.5×1.2の滑石を使用 3.0×3.5×1.0の滑石を使用	30分	100円
2	土器づくり	1kgの野焼き粘土を使用	2時間	300円
3	土笛づくり	1kgの野焼き粘土を使用 (2個作成できる)	1時間	300円
4	火おこし	舞きりを使用	30分	100円
5	石器づくり	石包丁や石鎌を作成	2時間	100円
6	縄文機織り	コモヅチを使いコースター作成	3時間	200円
7	プラホビー	プラスチック板に絵を描く	20分	100円

## 2) 企画体験

### ①小中学校総合学習

#### 中学校

学校名	実施日	学習内容	学年	員数
城崎中学校	7月 8日	見学・アンギン	1年	12名
城崎中学校	10月 5日	土器づくり	1年	8名
城崎中学校	11月14日	雲南焼き窯入れ	1年	12名
	～15日	雲南焼き窯だし		

#### 小学校

学校名	実施日	学習内容	学年	員数
国東小学校	6月13日	米づくり：田植え	5年	56名
来浦小学校	6月15日	米づくり：田植え	5・6年	10名
富来小学校	6月27日	土器づくり、火おこし	6年	16名
国東小学校	7月18日	米づくり：田草取り	5年	56名
来浦小学校	7月22日	米づくり：田草取り	5・6年	10名
国東小学校	10月10日	米づくり：稲刈り・脱穀	5年	57名
大分市田尻小学校	10月12日	見学・石器づくり・火おこし	6年	74名
来浦小学校	10月13日	米づくり：稲刈り・脱穀	5・6年	10名

#### 幼稚園

学校名	実施日	学習内容	員数	備考
豊崎幼稚園	6月16日	米づくり：田植え（保護者4名）	4名	職員2名
富来幼稚園	"	"（保護者7名）	8名	職員2名
旭日幼稚園	7月13日	土器づくり・公園利用	12名	職員2名
豊崎幼稚園	7月18日	米づくり：田草取り、まが玉づくり	8名	職員2名
富来幼稚園	"	"	7名	職員2名
中津児童相談所	9月 2日	まが玉づくり、火おこし	25名	
豊崎幼稚園	9月 5日	米づくり：案山子づくり	8名	職員2名
富来幼稚園	"	"	7名	職員2名
カトリック津久見幼稚園	10月 7日	火おこし	3名	
豊崎幼稚園	10月13日	米づくり：稲刈り・脱穀	12名	職員2名
富来幼稚園		"	9名	職員2名
旭日幼稚園	11月14日	勾玉づくり・公園利用	13名	職員2名
旭日幼稚園	2月 8日	プラホビー	10名	職員3名



豊崎幼稚園・富来幼稚園田植え



大分市田尻小学校磨製石器づくり



大分市田尻小学校火おこし

②教科学習

学校名	実施日	学習内容	学年	員数
上国崎小学校	6月20日	昔の道具しらべ・機織り体験	4・5年	8名
朝来小学校	6月27日	まが玉づくり・火おこし	6年	3名
小原小学校	11月7日	社会科学習・まが玉づくり	1・2年	26名
武蔵東小学校	11月16日	昔の道具しらべ・勾玉づくり	4年	46名

③その他

学校名	実施日	学習内容	学年	員数
杵築市東小学校	5月21日	まが玉づくり・火おこし	5年	45名 保護者33名
日出町一北子供会	6月4日	まが玉づくり	小学生	22名
学校適応指導教室	6月14日	芋植え	小学生	6名
やまなみ児童クラブ	6月17日	まが玉づくり	親子	38名
白杵中央保育所	6月24日	まが玉づくり	園児	27名
別府大学	7月2日	まが玉づくり・火おこし	大学生	44名
安心院町子ども教室	7月8日	まが玉づくり・火おこし	小学生	42名
野田子ども会	8月5日	まが玉づくり・火おこし	小学生	8名
北九州市陣山子ども会	8月6日	まが玉づくり・火おこし	小学生	7名
武蔵子ども教室	8月22日	まが玉づくり・古代食	1～6年	36名
別府大学	10月29日	まが玉づくり・火おこし	大学生	名
杵築市大内小学校	11月11日	まが玉づくり・火おこし	4年	20名 保護者18名
別府大学	11月12日	見学	大学生	77名
杵築市豊洋小学校	12月3日	古代食・まが玉づくり	6年	23名

④公園利用

学校名	実施日	学習内容	学年	員数
大恩こども館	4月15日	ふれあい遠足	全学年	45名
国東小学校	4月18日	歓迎遠足	全学年	319名
県民すこやかスポーツ祭	5月28日	ロープジャンプほか	小学生	100名
むさし苑	6月8日	遠遊会	一般	21名
旭日小学校	10月24日	鍛錬遠足	小学生	33名
国東小学校PTA	10月28日	親子ふれあい活動	小学生・一般	50名
オレンジ保育所	11月2日	遠足	4・5歳児	37名



富来小学校火おこし



国東小学校田植え



国東小学校稲刈り・脱穀



富来小学校土器づくり



富来小学校火おこし

### 3) 弥生のムラ年中行事「五節句」

#### ①開館5周年記念事業

「弥生のムラから初誕生」「弥生のムラのこどもの日」5月5日(金)

午後1時～2時10分「弥生のムラから初誕生」参加者 26名

初誕生の参加案内を203名に送付し、餅ふみ・餅かるい、初誕生の物選び、初誕生の泣き相撲を、土舞台でおこないました。

午前10時～午後4時「弥生のムラのこどもの日」

赤・青・鯉のぼりを作る。弓矢づくりでストラックアウトや弥生の狩り

参加者総数 約400名



餅ふみ

#### ②「七夕・星に願いを」7月3日(日)

午後1時～4時

笹飾りづくりとして、紙すき短冊づくりや漉いた短冊に箸の筆で願い事を書いたり、折り紙や切り絵など色とりどりの七夕飾りをつくりました。

今年は、弥生のムラインストラクター4名と参加者が数名でした。



七夕

#### ③「七日正月」2月4日(日)

午前10時～午後1時30分

羽子板をペーパーで磨き、貼り絵や絵を描きオリジナルの羽子板づくりに挑戦し、羽根突き遊びを行った。パイ貝を打ち欠いてパイ独楽をつくりパイ独楽回しを楽しんだり、また、弥生のムラの七草かゆや古代汁を土器で炊き、振る舞いました。また、弥生のムラインストラクター10名が指導者として参加しました。館内には、独楽・羽子板・和凧など正月遊具を展示した。

参加者総数 約60名



羽子板づくり

#### ④「雛節句」3月4日(日)

午後1時～4時

古代土器づくり教室生が素焼き土器の雛人形を約70組作成し、人形づくりの指導し、参加者に大変好評だった。稲ワラで棧俵の流し雛人形をつくり公園内の大溝で流し厄払いと今年の無病息災を願いました。また、今年は、国東の地タコを孟宗竹で炊き振舞い大変好評だった。雛あられや甘酒と一緒に振舞った。館内には、町内の方の雛人形約11組を展示し、梅園の里・涛音寮と3館でスタンプラリーを実施し、名の応募がありました。

参加者総数 約60名

展示期間 平成19年2月15日(木)から  
3月25日(日)



素焼き雛人形づくり

## 4 弥生のムラ祭り

史跡公園として整備した弥生のムラ安国寺集落遺跡の公開と活用を促進し、この施設が地域に根ざした町づくりの拠点となるため実施し、古代の原風景を彷彿とさせる史跡の特性を活かした各種イベントを通して、市民の生涯学習や教育・文化の発展に寄与し、合せて広く県の内外へ向けて情報発信を図ることを目的として開催しました。

今年は、晴天の中ボランティアとして、中学生・高校生のボランティア34名、弥生のムラインストラクター14名の協力がありました。参加者800名

### 1) 第6回くにさき弥生のムラ秋まつり

日時 平成18年10月21日(土) 午前10時～午後4時  
内容 ステージ部門 午前10時～午後4時まで  
オープニング「弥生のパレード」・・・南部保育園



蘭陵王の舞

- ①開会行事 午前10時～11時10分  
あいさつ 主催者・・・吉井孝光教育長  
来賓・・・猪俣俊雄市議会議員長  
「東津姫行列」・・・ボランティア推進協議会  
原さきがけ  
「コーラス」・・・国東ソレイユ
- ②子ども舞台発表会 午前11時10分～12時30分  
「荒溪龍退治太鼓」・・・上国崎小学校  
「菊永音頭」・・・豊崎小学校  
「花笠音頭」・・・国東小学校  
「踊り」・・・オレンジ保育所

③おんばしら建て・オレンジ保育所ほか 午後12時30分

④伝統芸能公演 午後1時30分～2時30分

雅楽と舞楽「蘭陵王の舞」・・・中津市耶馬溪町  
雲八幡宮雅楽会 雲林楽社

バザー部門 午前10時～午後4時30分まで

- ・バザー(食品)・展示・直売(物産・雑貨)
- ・弥生のムラお茶席・・・森生子社中

娯楽部門 午前10時～午後4時30分まで

【あそびンピック】

- ・出演者限定アクセサリーブづくり 午前11時～午後1時
- ・弓矢あそび 午後12時～午後3時
- ・弥生のムラ人間すごろく大会 午後1時～午後3時
- ・クイズラリー(館内編) 午前9時～午後4時30分

【常設体験】

- ・色勾玉づくり(ピンク石・水墨石・モザイク石・シルク石)

展示部門 午前9時～午後4時30分まで

【くにさき弥生の文化展】

- ・野の花展・・・見初伊都子社中
- ・かずら工芸・・・戸田肇、かずら工芸教室生
- ・機織りと染め・・・木村加代子、機織り教室生



雲八幡宮雅楽

## 2) 第6回くにさき弥生のムラ春まつり

### ①弥生のムラ春祭り「写真・短歌・俳句展」

開催期間 平成18年2月18日(日)～3月31日(日)

開催場所 国東市歴史体験学習館 2階

### ②弥生のムラ春祭り「写真・短歌・俳句展」

日時 平成18年2月18日(日) 午前10時30分～正午

場所 国東市歴史体験学習館 映像ホール

内容 応募作品入賞者表彰式 22名が参加

「くにさき弥生のムラ写真コンテスト」

・弥生のムラ古代の里部門・・・26点の応募・・・9点入選

・弥生のムラ秋祭り部門・・・36点の応募・・・10点入選

「くにさき弥生のムラを詠む」

・俳句部門・・・一般の部 107句の応募・・・8句入選

子どもの部 29句の応募・・・4句入選

・短歌部門・・・一般の部 78首の応募・・・8首入選

子どもの部 5首の応募・・・2首入選

## 5 講演会

### 1) 企画展記念講演会

開催日時 平成18年10月21日(土) 午前11時00分～12時30分

開催場所 国東市歴史体験学習館 映像ホール

演題 「国東のあけぼの - 弥生のムラの暮らしと祈り」

別府大学教授 下村 智氏

内容 国史跡安国寺集落遺跡を中心に弥生時代の衣・食・住・祈りの4つのテーマに分けての講話と、遺跡発掘調査の成果や現在の中国での高床生活の様子をスライドでわかりやすく説明された。

参加者数 23名



講演会

### 2) 企画展記念講演会

開催日時 平成18年11月26日(日) 午後1時30分～午後3時10分

開催場所 国東市歴史体験学習館 映像ホール

演題 「文化財の宝石箱国東市 - その見方と味わい方」

大分県立歴史博物館長 渋谷 忠章氏

内容 大分県の国・県・市指定文化財の分類や指定基準を説明し、中でも国東の文化財は大半が天台宗寺院にかかわる仏教石造物や仏像、修正鬼会など無形民俗文化財があります。それらの文化財が国東に残されていることの重要性を県下の文化財と比較し講話された。

参加者数 28名



講演会

## 6 中国交流事業

### ①内容

国東市歴史体験学習館と浙江省博物館は姉妹館として、親しく交流を続けています。今年度は、中国浙江省博物館名誉館長毛昭をはじめ6名の浙江省博物館職員が来訪されました。毛昭晰氏の講演会「羽人の飾りと海の交流」及びシンポジウム「日本と中国の文化交流—未来を担う子どもたち—」の参加者は、約60名でした。市内では、体験学習館、安岐町西武蔵小学校、三浦梅園資料館と旧宅を視察し、西武蔵小学校の全校生徒18名による神楽の見学や子どもたちと意見交流を行いました。伝統芸能を継承している子どもたち、先生や保護者の方々の熱心な取り組みに対して、訪日団の方々も大変感銘を受けられたようでした。

②滞在期間 平成19年3月22日(木)～26日(月)

③中国訪問団員 8名

No.	氏名	所属	性別	備考
1	毛昭晰	浙江省博物館名誉館長、浙江大学教授	男性	
2	賈国良	武林館区建設事務室総合科副科長	男性	
3	魏麗莎	《東方博物》編集部編輯副研究館員	女性	
4	劉徳龍	技術保護部書画表装、館員	男性	
5	楽栄偉	事務室 インターネット管理	男性	
6	銭虹	総務部 資材管理	男性	
7	余明	保安課 安全管理	男性	



歓迎レセプション



講演会シンポジウム

④視察日程

月 日	項 目	内 容	担 当
第1日目 3月22日 (木)	訪日団福岡着14:50(CA917) 歓迎レセプション いこいの村泊	出迎え(移動はマイクロバス使用) 日本7名、中国7名、事務局1名 通訳1名	事務局2名 事務局4名
第2日目 3月23日 (金)	安岐町西武蔵小学校交流会 梅園資料館と旧宅視察 昼食(梅園の里) 市長表敬訪問 歓迎懇親会 いこいの村泊	神楽披露、使節団と児童の質疑応答 梅園先生をたたえる歌  市職員玄関で出迎え H14・H16年度に中国交流事業参加者他	事務局3名 # # #7名 #9名
第3日目 3月24日 (土)	弥生のムラ視察  大分マリーーンパレス視察 別府泊	「国東の遣唐使」参加者との交流会 弥生のムラ視察	事務局3名 #2名
第4日目 3月25日 (日)	九州国立博物館視察  福岡泊	博物館の収蔵・研究等の施設視察	事務局2名
第5日目 3月26日 (月)	訪日団福岡発15:25(CA916)	中国7名	事務局2名

7 協議会・委員会

1) 国東市歴史体験学習館協議会

体験学習館事業の諮問機関であり、学識経験者をはじめ、文化財調査員、小・中学校教諭、弥生のムラ インストラクター等の代表者10名で構成されています。今年は、旧4町からも選出し、広く市民に活用されるように取組みました。視察研修は、資料収蔵状況等を中心に、県内において先進施設を備えた県立歴史博物館(宇佐市)と県立先哲史料館を視察しました。

国東市歴史体験学習館協議会委員 H 18.4.1～H 20.3.31

職 名	氏 名	構 成	住 所	備 考
委員長	郷 司 信義	学識経験者	国東町	
副委員長	河野 則子	学識経験者	国東町	
委 員	溝部 宗徳	学識経験者	国東町	
委 員	後藤 博正	文化財愛護少年団代表	国東町	
委 員	本多 勝喜	学識経験者	安岐町	
委 員	安田 昌明	文化財調査員代表	国見町	
委 員	相部 貞子	学識経験者	武蔵町	
委 員	西田 文代	弥生のムラインストラクター代表	国東町	
委 員	丸尾 修	中学校教諭代表	安岐町	
委 員	橋本 邦彦	小学校教諭代表	国東町	

回	開 催 日	内 容
1	7月21日	平成18年度事業計画
2	11月17日	大分県立歴史博物館・大分県立先哲史料館視察研修

## 2) 弥生のムラ 小中学校連絡協議会

小・中学校の週5日制や総合学習の導入により、町内小・中学校教育と連携を図り体験教育施設として活用することを目的とし、体験学習館と学校が相互に協力し、円滑な学社連携を図りました。

	学 校 名	氏 名	専 門 教 科	備 考
会 長	安岐中学校	丸尾 修	理 科	
副 会 長	富来小学校	橋本 邦彦	算 数	
委 員	国見中学校	関司 和子	養 護	
委 員	来浦中学校	安藤 富勝	理 科	
委 員	富来中学校	芹川 邦彦	保健・体育	
委 員	城崎中学校	仲磨 則子	国 語	
委 員	国東中学校	永松 俊弘	社 会	
委 員	武蔵中学校	吉岡 童栄	社 会	
委 員	竹田津小学校	重吉 洋子		
委 員	伊美小学校	岐部 悦子	社 会	
委 員	熊毛小学校	竹井 弘子		
委 員	来浦小学校	田城 久寿美	国 語	
委 員	大恩小学校	新谷 恭子		
委 員	豊崎小学校	平本 光一		
委 員	上国崎小学校	長木 恵美子	国 語	
委 員	国東小学校	澤田 智子	算 数	
委 員	小原小学校	溝部 裕二		
委 員	旭日小学校	宇津宮美有紀		
委 員	武蔵東小学校	仲村 浩一	社 会	
委 員	武蔵西小学校	角田 由美子		
委 員	西武蔵小学校	矢野 久子		
委 員	朝来小学校	岸和田 泉	理 科	
委 員	西安岐小学校	伊藤 典子	算 数	
委 員	南安岐小学校	畑野 章	社 会	
委 員	安岐小学校	末平 誠	体 育	

回	開催日	内 容
1	6月29日	館利用について、平成18年度事業計画

## 3) 中国交流事業実行委員会

国史跡安国寺集落遺跡保存整備に伴い、中国浙江省河姆渡遺跡出土品を収蔵展示している浙江省博物館と姉妹関係を結び、文化交流を続けています。両国の文化を尊重し、親睦を深めるとともに日中友好の中国交流事業を円滑な運営に寄与することを目的としました。

	氏 名	役 職
会 長	野田 侃生	市 長(平成19年3月5日～)
副 会 長	猪俣 俊雄	市議会議長
委 員	堤 康一郎	市議会文教委員長
"	金田 信子	教育委員
"	見 初 稔	学識経験者
"	郷司 信義	歴史体験学習館協議会会長
"	吉井 孝光	教育長
監 事	井上 正雄	出納室長
"	猪俣 光俊	文化財調査委員長
事 務 局	松井 正	文化財課長(兼)歴史体験学習館長
"	有馬 孝	文化財課長補佐(兼)歴史体験学習館副館長
"	永松 みゆき	歴史体験学習館係長
"	藤本 啓二	歴史体験学習館主査

回	開催日	内 容
1	2月1日	平成18年度事業計画及び予算(案)

#### 4) 弥生のムラインストラクター協議会

この協議会は、当館のボランティアスタッフであり、弥生のムラインストラクター養成講座やこれまでの生活で培った知識や機能、また経験などを入館者に還元していただくとともに、自らも充実した潤いのある豊かな生活を送る場として活動しています。

本年度は、弥生の年中行事や弥生のムラ秋祭りなどをはじめ団体の体験指導、館活動へ積極的且つ主体的に取り組みました。また、先進地施設等の視察研修により見識が深められ、活動意欲の向上が図られました。

##### ①弥生のムラインストラクター協議会員

No.	氏名	備考	No.	氏名	備考
1	西田 文代	会長	15	後藤 基次郎	
2	都甲 滋之	副会長	16	今留 康雄	
3	平永 光		17	小野 文昭	
4	重吉 登美		18	鹿島 弘子	
5	小田 律子		19	海原 明子	
6	仲村 文博		20	国広 大倫	
7	宮脇 智恵子		21	末房 祐一郎	
8	橋本 幸子		22	岡田 愛子	
9	吉田 妙		23	金丸 勝	
10	財前 妙子		24	金丸 淑子	
11	吉田 民子		25	清田 カツ子	
12	今井 洋治		26	松原 久子	
13	今井 スエ子		27	郷司 紀代	
14	吉武 法子		28	吉武 久志	

##### ②活動内容

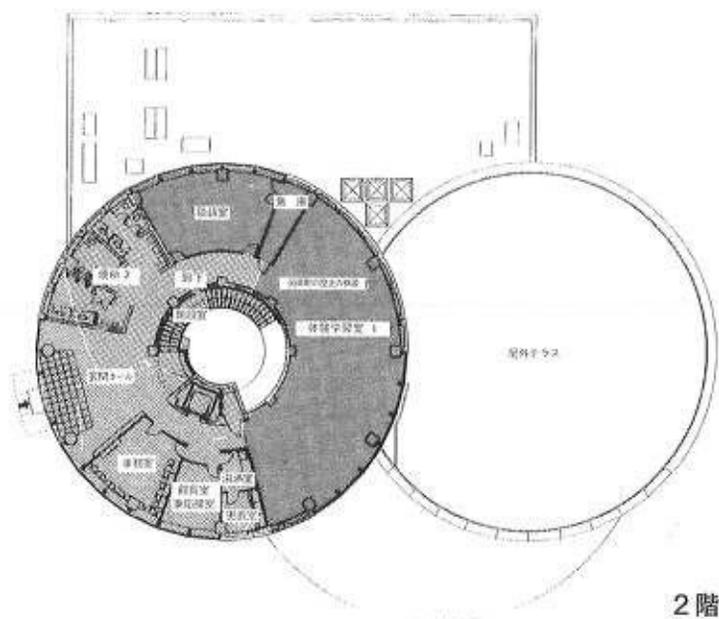
回	活動日	内容
1	5月 5日	「端午の節句」「弥生のムラから初誕生」スタッフ
2	6月 1日	北九州市いのちの旅博物館視察
3	～2日	北九州市門司港の町並整備視察
4	6月 3日	ホテルウォッチング ホテルかごづくり指導
5	7月 1日	「七夕」スタッフ
6	8月 1日	夏休み「古代への旅」スタッフ
7	～3日	＃
8	10月21日	弥生のムラ「秋祭り」スタッフ
9	11月11日	国見町ちよるちよる祭り体験指導
10	～12日	＃
11	11月26日	企画展講演会 参加
12	2月 4日	「七日正月」スタッフ
13	3月 4日	「雛節句」スタッフ
14	3月23日	中国交流事業文化講演会 参加

## V 館機構

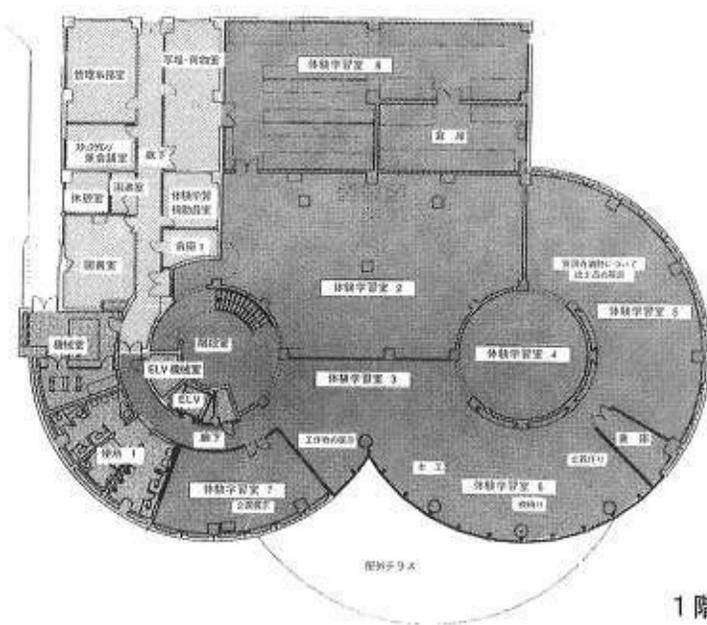


役職名	氏名	備考
館長(兼)文化財課長	松井 正	
副館長(兼)文化財課長補佐・文化財係長	有馬 孝	
管理係長(兼)文化財課管理係長	原田 須恵宏	
学芸調査係長	永松 みゆき	
体験学習館副主幹(兼)文化財課副主幹	松本 啓子	
学芸調査係主査	藤本 啓二	
学芸調査係主査(兼)文化財課主査	神崎 哲也	
管理係嘱託	鹿島 英雄	
管理係臨時	松本 悦子	
管理係臨時	清成 輝久	

## VI 施設の概要

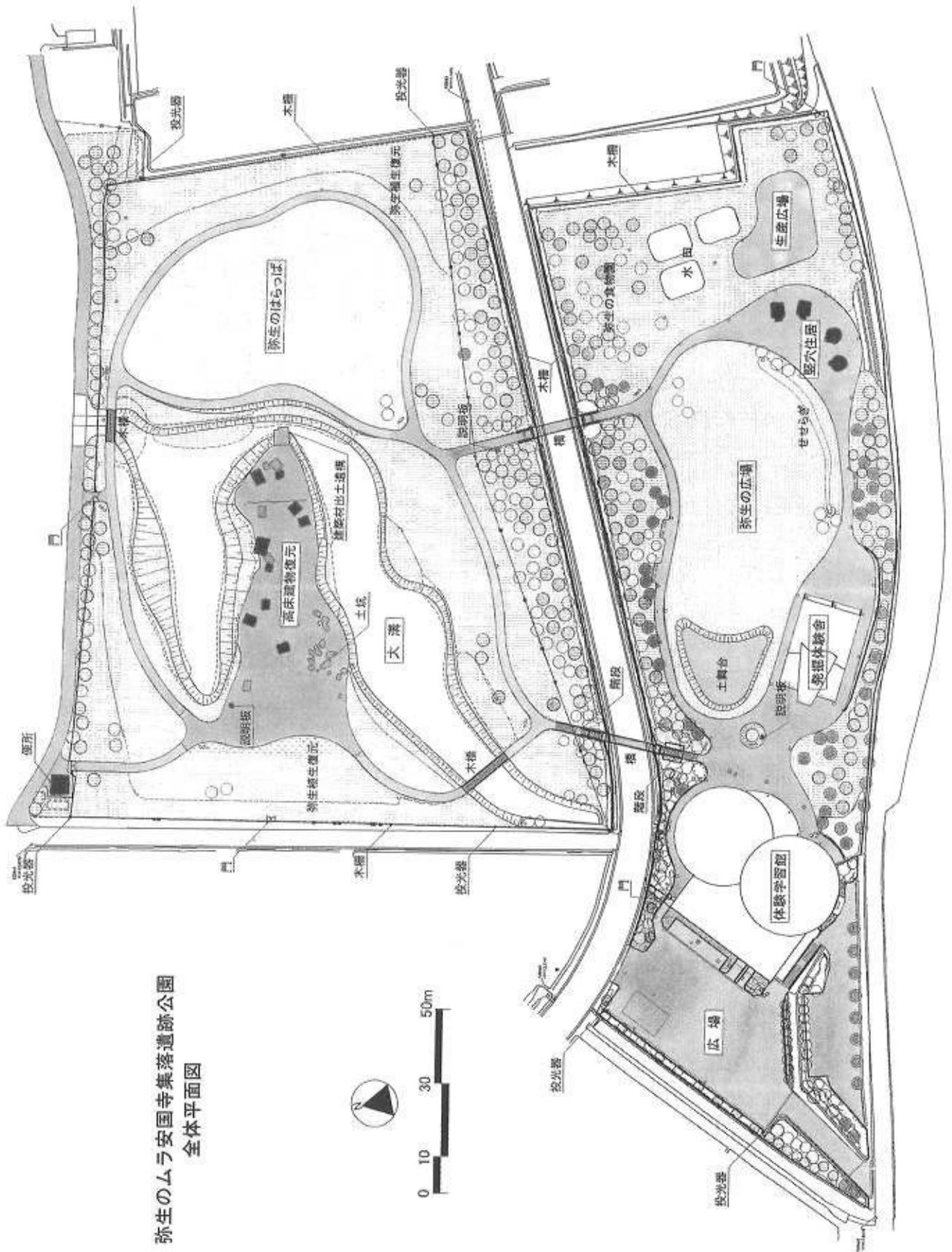


2階



1階

弥生のムラ安国寺集落遺跡公園  
全体平面図



## VII 平成18年度入館者・体験者数

平成18年度 国東市歴史体験学習館入館者集計総括表

月	有 料							無 料						月 計 (人)	累 計 (人)
	個人			団 体				免 除			館利用者				
	大人	小人	計	大人	小人	計	小計 (人)	大人	小人	免除計	大人	小人	計		
4	157	30	187	0	0	0	187	0	0	0	116	419	535	722	80,520
5	256	38	294	110	0	110	404	0	0	0	378	425	803	1,207	81,727
6	134	15	149	42	30	72	221	0	29	29	184	275	459	709	82,436
7	137	22	159	64	0	64	223	0	0	0	208	202	410	633	83,069
8	234	97	331	0	0	0	331	0	0	0	191	198	389	720	83,789
9	157	5	162	23	0	23	185	0	0	0	237	113	350	535	84,324
10	227	88	315	109	0	109	424	0	0	0	575	769	1344	1,768	86,092
11	191	7	198	291	20	311	509	0	54	54	283	254	537	1,100	87,192
12	84	8	92	11	12	23	115	0	0	0	141	104	245	360	87,552
1	70	1	71	0	0	0	71	0	0	0	148	100	248	319	87,871
2	98	5	103	0	0	0	103	2	0	2	203	153	356	461	88,332
3	146	6	152	0	0	0	152	0	0	0	110	144	254	406	88,738
合計	1,891	322	2,213	650	62	712	2,925	2	83	85	2,774	3,156	5,930	8,940	88,738

平成18年度 国東町歴史体験学習館体験学習集計総括表

月	勾 玉				土 器 300円	発 掘 300円	火おこし 100円	石 器 100円	アラホビー 100円	編 布 200円	焼き芋 200円	古代食 200円	合 計	累 計
	300円	200円	100円	500円										
4	9	35	56		2		17		5	2			126	126
5	4	34	83		10		20		2				153	279
6	0	58	101		17		21		8				205	484
7	114	27	36		18		98		4				297	781
8	309	59	63	3	23		98		15	8		43	621	1,402
9	73	23	3	3			6		21	2			131	1,533
10	177	20	10				156	74					437	1,970
11	178	19	94	1	1		39		1		9		342	2,312
12	31	9	8				4		2	2		23	79	2,391
1	14	0	2				4						20	2,411
2	16	0	15	1			5						37	2,448
3	29		10	2	2		10						53	2,501
合計	954	284	481	10	73	0	478	74	58	14	9	66	2501	

## VIII 収蔵資料

### 1) 寄贈資料

分 野	資 料 名	数 量	寄 贈 者	寄贈年月日	登録番号
古文書	後藤家文書	4箱	後藤博正	2007/1/23	1188
信仰資料	盲僧高木清玄氏資料	19点	高木ケサ子	2007/1/28	1574～1592
歴史資料	元田肇氏関係資料	4点	猪俣サツ	2007/2/22	141～143
歴史資料	吉武東里氏関係資料	71点	吉武哲子	2007/2/23	1501～1518
書籍	吉武東里氏関係資料	3冊	吉武哲子	2007/2/24	1857

### 2) 寄託資料

分 野	資 料 名	数 量	寄 託 者	受入年月日	寄託期限	登録番号
考古資料	森本遺跡出土土器	2	大分県教育庁	2006/10/17	2007/3/30	
考古資料	狐塚古墳出土品		大分県歴史博物館	2006/10/19	2007/3/30	

### 3) 五節句に係る寄託資料

分 野	資 料 名	数 量	寄 託 者	受入年月日	寄託期限	登録番号
節供用具	武者飾り	1式	宗 榮 一	2006/3/31	2006/5/30	1852
節供用具	武者飾り	1式	佐久間京子	2006/3/31	2006/6/2	1853
節供用具	武者人形	1式	倉 園 哲 彦	2006/3/31	2006/5/30	1854
節供用具	武者人形	1式	小 川 十 二	2006/3/31	2006/5/30	1855
節供用具	武者人形	1式	坂 田 輝 義	2006/4/7	2006/5/30	1856

### 4) 購入図書

No	書 名	数 量	発 行 所	備 考
1	歴史考古学大辞典	1	吉川弘文館	
2	古代の技術史上金属	1	朝倉書店	

## 5) 寄贈図書

寄贈番号	書名	寄贈者	受入年月日	18年度	備考
6575	むなかたの文化財—平成15年度文化財保護事業—	宗像市市民活動推進課	18.4	1	
6576	歴史と民俗22	神奈川大学	18.4	2	
6577	民具マンスリー—38巻10~12	神奈川大学	18.4	3	3冊
6578	祇園原古墳群9	宮崎県新富町教育委員会	18.4	4	
6579	町内遺跡22	宮崎県新富町教育委員会	18.4	5	
6580	弁指遺跡	宮崎県新富町教育委員会	18.4	6	
6581	国立歴史民俗博物館研究報告第126集	国立歴史民俗博物館	18.4	7	
6582	国立歴史民俗博物館研究報告第129集	国立歴史民俗博物館	18.4	8	
6583	周防国跡第143次発掘調査概要	周防市教育委員会	18.4	9	
6584	平成15年度周防市内遺跡発掘調査概要	周防市教育委員会	18.4	10	
6585	日韓交流史理解促進事業調査報告書	日韓交流史理解促進事業実行委員会	18.4	11	
6586	瀬崎遺跡第9地点	北九州市教育委員会	18.4	12	
6587	高島遺跡	北九州市教育委員会	18.4	13	
6588	MuseumKyushu	博物館等建設推進九州会議	18.4	14	
6589	ユネスコ世界遺産年報2006(No11)	日本ユネスコ協会連盟	18.4	15	
6590	九州龍谷短期大学紀要第52号	九州龍谷大学	18.4	16	
6591	黒崎書店古書目録	黒崎書店	18.4	17	
6592	尼崎市埋蔵文化財調査年報平成8年度(1)	尼崎市教育委員会	18.4	18	
6593	尼崎市内遺跡 復旧・復興事業に伴う発掘調査	尼崎市教育委員会	18.4	19	
6594	松山市埋蔵文化財調査年報17 平成16年度	松山市教育委員会	18.4	20	
6595	宮前川流域の遺跡Ⅱ	松山市教育委員会	18.4	21	
6596	来住・久米地区の遺跡Ⅵ	松山市教育委員会	18.4	22	
6597	八子六本黒木遺跡14区	神埼町教育委員会	18.4	23	
6598	市内遺跡発掘調査	都城市教育委員会	18.4	24	
6599	折り 卑弥呼といのりの小道具	松山市考古館	18.4	25	
6600	第32集 原の辻遺跡	長崎市教育委員会	18.4	26	
6601	第33集 原の辻遺跡	長崎市教育委員会	18.4	27	
6602	高田遺跡	宮崎県都城市教育委員会	18.4	28	
6603	鬼木四反田遺跡(遺構編) 鳥越今井野遺跡	豊前市教育委員会	18.4	29	
6604	平成17年度市内遺跡発掘調査に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	延岡市教育委員会	18.4	30	
6605	八子二本黒木遺跡	神埼町教育委員会	18.4	31	
6606	八子四本黒木遺跡Ⅲ	神埼町教育委員会	18.4	32	
6607	八子一本黒木遺跡 IV・V・Ⅵ区	神埼町教育委員会	18.4	33	
6608	玉名市内遺跡調査報告書Ⅲ 平成15・16年度の調査	玉名市教育委員会	18.4	34	
6609	館報(自然史部門)第38号	日田市立博物館	18.4	35	
6610	日本民俗学245	日本民俗学会	18.4	36	
6611	平成17年度 ボランティア活動	沖縄県立博物館	18.4	37	
6612	倭人の世界	鳥取県教育委員会	18.4	38	
6613	三沢北中尾遺跡10A地点	小都市教育委員会	18.4	39	
6614	小坂井京塚遺跡3	小都市教育委員会	18.4	40	
6615	寺福童遺跡4 発掘調査概報	小都市教育委員会	18.4	41	
6616	別府大学付属博物館だより	別府大学	18.4	42	
6617	九重町歴史資料館年報	九重町教育委員会	18.4	43	
6618	國學院大学 博物館学紀要27	國學院大学博物館研究室	18.4	44	
6619	國學院大学 博物館学紀要29	國學院大学博物館研究室	18.4	45	
6620	熊本市埋蔵文化財調査年報 第7号	熊本市教育委員会	18.4	46	
6621	江津湖遺跡群Ⅰ	熊本市教育委員会	18.4	47	
6622	池辺寺跡Ⅷ	熊本市教育委員会	18.4	48	
6623	千原台遺跡群	熊本市教育委員会	18.4	49	
6624	熊本市埋蔵文化財調査年報 第6号	熊本市教育委員会	18.4	50	2冊
6625	池辺寺跡Ⅷ	熊本市教育委員会	18.4	51	
6626	二本木遺跡群Ⅰ	熊本市教育委員会	18.4	52	2冊
6627	神水遺跡Ⅷ	熊本市教育委員会	18.4	53	
6628	八ノ坪遺跡Ⅰ	熊本市教育委員会	18.4	54	2冊
6629	熊本市埋蔵文化財調査年報 第7号	熊本市教育委員会	18.4	55	
6630	江津湖遺跡群Ⅰ	熊本市教育委員会	18.4	56	
6631	池辺寺跡Ⅷ	熊本市教育委員会	18.4	57	
6632	千原台遺跡群	熊本市教育委員会	18.4	58	
6633	池辺寺跡Ⅷ	熊本市教育委員会	18.4	59	
6634	神水遺跡Ⅷ	熊本市教育委員会	18.4	60	
6635	筑前島遺跡 第1集	筑前市教育委員会	18.4	61	
6636	宮ノ前遺跡B	夜須町教育委員会	18.4	62	
6637	永牟田第1遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	63	
6638	銀座第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	64	
6639	前ノ田村上第1遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	65	
6640	尾小原遺跡(二次調査)	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	66	
6641	老瀬坂上第3遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	67	
6642	向原第1遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	68	
6643	銀座第1遺跡(一・二・三・四次調査)	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	69	
6644	市瀬上第1遺跡・第4遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	70	
6645	虚空蔵免遺跡 赤石・天神本遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	71	
6646	天神本第2遺跡 大内原遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	72	
6647	西ノ別府遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.4	73	
6648	山形市埋蔵文化財調査年報 平成5~11年度	山形市教育委員会	18.4	74	
6649	山形市埋蔵文化財調査年報 平成12年度	山形市教育委員会	18.4	75	
6650	山形市埋蔵文化財調査年報 平成13年度	山形市教育委員会	18.4	76	
6651	山形市埋蔵文化財調査年報 平成14年度	山形市教育委員会	18.4	77	
6652	山形市埋蔵文化財調査年報 平成15年度	山形市教育委員会	18.4	78	
6653	河原田遺跡 梅野木前2遺跡	山形市教育委員会	18.4	79	
6654	南志田遺跡	山形市教育委員会	18.4	80	
6655	双葉町遺跡(山形城三の丸遺跡)	山形市教育委員会	18.4	81	
6656	山形西高敷地内遺跡	山形市教育委員会	18.4	82	
6657	吉原Ⅰ~Ⅵ遺跡 若宮の橋跡	山形市教育委員会	18.4	83	

寄贈番号	書名	寄贈者	受入年月日	18年度	備考
6658	観音堂遺跡	山形市教育委員会	18.4	84	
6659	成沢西遺跡	山形市教育委員会	18.4	85	
6660	双葉町遺跡(山形城三の丸跡)近世編	山形市教育委員会	18.4	86	
6661	山形城跡本丸堀発掘調査概報	山形市教育委員会	18.4	87	
6662	中野目Ⅰ遺跡 中野目Ⅱ遺跡	山形市教育委員会	18.4	88	
6663	吉原Ⅰ遺跡	山形市教育委員会	18.4	89	
6664	吉原Ⅲ遺跡	山形市教育委員会	18.4	90	
6665	吉原Ⅶ遺跡	山形市教育委員会	18.4	91	
6666	石田遺跡 上谷柏遺跡	山形市教育委員会	18.4	92	
6667	山形城三の丸跡(山形市立第一小学校敷地内)	山形市教育委員会	18.4	93	
6668	鳩遺跡発掘調査概報	山形市教育委員会	18.4	94	
6669	馬上台遺跡発掘調査報告書	山形市教育委員会	18.4	95	
6670	吉原Ⅱ遺跡	山形市教育委員会	18.4	96	
6671	下耳切第3遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.5	97	
6672	唐木戸第4遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.5	98	
6673	東畦原第1遺跡(二次調査)	宮崎県埋蔵文化財センター	18.5	99	
6674	東畦原第1遺跡(三・四次調査)	宮崎県埋蔵文化財センター	18.5	100	
6675	上新開遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	18.5	101	
6676	山崎上ノ原第2遺跡Ⅱ	宮崎県埋蔵文化財センター	18.5	102	
6677	東九州自動車道関連埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ	宮崎県埋蔵文化財センター	18.5	103	
6678	東九州自動車道関連埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ	宮崎県埋蔵文化財センター	18.5	104	
6679	星原遺跡	宮崎市都市教育委員会	18.5	105	
6680	坂元A遺跡 坂元B遺跡	宮崎市都市教育委員会	18.5	106	
6681	泉南市遺跡群発掘調査報告書ⅩⅩⅢ	泉南市教育委員会	18.5	107	
6682	群馬県立歴史博物館紀要	群馬県立歴史博物館	18.5	108	
6683	大分県立芸術会館研究紀要	大分県立芸術会館	18.5	109	
6684	大分県立芸術会館年報	大分県立芸術会館	18.5	110	
6685	「おおいた教育の日」制定記念大会	大分県教育委員会	18.5	111	
6686	国立歴史民俗博物館研究報告 第125集	国立歴史民俗博物館	18.5	112	
6687	関西大学博物館紀要	関西大学博物館	18.5	113	
6688	国立歴史民俗博物館研究報告 第130集	国立歴史民俗博物館	18.5	114	
6689	国立歴史民俗博物館研究報告 第127集	国立歴史民俗博物館	18.5	115	
6690	国立歴史民俗博物館研究報告 第128集	国立歴史民俗博物館	18.5	116	
6691	文化庁平成17年度芸術拠点形成事業「芸術会館海外美術品調査事業」	大分県立芸術会館	18.5	117	
6692	国指定史跡 知覧城跡(三)	鹿児島県知覧町教育委員会	18.5	118	
6693	平成17年度農業基盤整備事業に伴う発掘調査概要報告書	宮崎県教育委員会	18.5	119	
6694	西都原古墳群保存整備上行報告書	宮崎県教育委員会	18.5	120	
6695	古代城山 鬼ノ城2	岡山県総社市教育委員会	18.5	121	
6696	粕谷町内遺跡確認調査	粕屋町教育委員会	18.5	122	
6697	戸原王塚古墳	粕屋町教育委員会	18.5	123	
6698	御嶽神楽	豊後大野市教育委員会	18.6	124	
6699	高添遺跡	豊後大野市教育委員会	18.6	125	
6700	国立歴史民俗博物館研究報告131集	国立歴史民俗博物館	18.6	126	
6701	国立歴史民俗博物館研究報告132集	国立歴史民俗博物館	18.6	127	
6702	収蔵資料目録4	大分県先哲資料館	18.6	128	
6703	福岡市美術館活動の記録	福岡市美術館	18.6	129	
6704	豊後の国国東郷2	大分県立歴史博物館	18.6	130	3冊
6705	大分県立歴史博物館研究紀要	大分県立歴史博物館	18.6	131	
6706	亀ヶ城跡	熊本県菊池郡旭志村教育委員会	18.6	132	
6707	小迫遺跡	熊本県七城教育委員会	18.6	133	
6708	植木山遺跡埋蔵文化財発掘調査概要報告書	七城町教育委員会	18.6	134	
6709	小野崎遺跡	熊本県菊池市教育委員会	18.6	135	
6710	資料館研究紀要	大分県先哲資料館	18.6	136	2冊
6711	収蔵資料目録4	大分県先哲資料館	18.6	137	
6712	京都府埋蔵文化財情報	京都府埋蔵文化財センター	18.6	138	
6713	大分県立歴史博物館研究紀要	大分県立歴史博物館	18.6	139	
6714	後通田原遺跡	白杵市教育委員会	18.6	140	
6715	木内石亭	草津市教育委員会	18.6	141	
6716	町内遺跡発掘調査報告書	宮崎県児湯郡高鍋町教育委員会	18.6	142	
6717	明治大学博物館研究報告第11号	明治大学博物館事務室	18.6	143	
6718	明治大学博物館年報2004年度	明治大学博物館事務室	18.6	144	
6719	城の本2号墳	熊本県益城町教育委員会	18.6	145	
6720	奥の坊遺跡群Ⅳ	高松市教育委員会	18.6	146	
6721	新田本村遺跡	高松市教育委員会	18.6	147	
6722	船岡古墳	香川県香川町教育委員会	18.6	148	
6723	神内城跡	高松市教育委員会	18.6	149	
6724	多肥松林遺跡	高松市教育委員会	18.6	150	
6725	多肥宮尻遺跡	高松市教育委員会	18.6	151	
6726	元興寺文化財研究所研究報告2005	元興寺文化財研究所	18.6	152	
6727	石走山遺跡Ⅱ	山口県埋蔵文化財センター	18.6	153	
6728	尾袋遺跡(田尻地区)	山口県埋蔵文化財センター	18.6	154	
6729	手洗古墳群	山口県埋蔵文化財センター	18.6	155	
6730	下右田遺跡	山口県埋蔵文化財センター	18.6	156	
6731	白石遺跡	山口県埋蔵文化財センター	18.6	157	
6732	萩城跡	山口県埋蔵文化財センター	18.6	158	
6733	日本民俗学246	日本民俗学会	18.6	159	
6734	久留米市埋蔵文化財年報V01.2	久留米市	18.6	160	
6735	良積遺跡Ⅴ	久留米市教育委員会	18.6	161	
6736	久留米城外郭遺跡第9次調査	久留米市教育委員会	18.6	162	
6737	小川遺跡	久留米市教育委員会	18.6	163	
6738	久留米市三瀬町遺跡等詳細分布調査報告書	久留米市教育委員会	18.6	164	
6739	筑後国府跡	久留米市教育委員会	18.6	165	
6740	別当山遺跡	久留米市教育委員会	18.6	166	
6741	京隈侍屋敷遺跡	久留米市教育委員会	18.6	167	
6742	中原遺跡第2次調査	久留米市教育委員会	18.6	168	

寄贈番号	書名	寄贈者	受入年月日	18年度	備考
6743	楠原侍屋敷遺跡 第6次調査	久留米市教育委員会	18,6	169	
6744	筑後国府跡 第203	久留米市教育委員会	18,6	170	
6745	日渡遺跡群IV 白川遺跡第3,4次調査	久留米市教育委員会	18,6	171	
6746	正福寺遺跡8・10次	久留米市教育委員会	18,6	172	
6747	二本木遺跡群III 神道遺跡第22次	久留米市教育委員会	18,6	173	
6748	正福寺遺跡・日渡遺跡	久留米市教育委員会	18,6	174	
6749	久留米市内遺跡群 H17年度	久留米市教育委員会	18,6	175	
6750	筑後国府後 H17概報	久留米市教育委員会	18,6	176	
6751	正福寺遺跡 第7次調査概報	久留米市教育委員会	18,6	177	
6752	永吉良遺跡	佐賀県鹿島市教育委員会	18,6	178	
6753	松浦遺跡 第2次	鎌栗町教育委員会	18,6	179	
6754	縄文の森から	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	180	
6755	三角山遺跡群(1~3遺跡)	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	181	
6756	農業開発総合センター遺跡群II	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	182	
6757	農業開発総合センター遺跡群III 尾ヶ原遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	183	
6758	中尾遺跡、四方高迫遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	184	
6759	野里小西遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	185	
6760	一般県道小山田谷山線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	186	
6761	中ノ原遺跡、中ノ丸遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	187	
6762	山ノ中遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	188	
6763	堂園平遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	189	
6764	市ノ原遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	18,6	190	
6765	竹田市の無形民俗文化財	竹田市教育委員会	18,6	191	
6766	小原山古墳発掘調査報告書	杵築市教育委員会	18,6	192	
6767	神ノ前遺跡	杵築市教育委員会	18,6	193	
6768	史跡岡城X X I	竹田市教育委員会	18,6	194	
6769	史跡岡城X X	竹田市教育委員会	18,6	195	
6770	史跡岡城X X II	竹田市教育委員会	18,6	196	
6771	史跡岡城X X III	竹田市教育委員会	18,6	197	
6772	平塚市博物館研究報告 自然と文化29号	平塚市博物館	18,6	198	
6773	市民が探る平塚空襲 資料編	平塚市博物館	18,6	199	
6774	平塚市博物館年報29	平塚市博物館	18,6	200	
6775	薩摩川内市川内歴史資料館年報	薩摩川内市歴史資料館	18,6	201	
6776	宇美中学校遺跡	宇美教育委員会	18,6	202	
6777	大井聖坂遺跡 大井家ノ下モ遺跡	鳥取市文化財団	18,6	203	
6778	市内遺跡発掘調査概要報告書	上越市教育委員会	18,6	204	
6779	中江北部第2地区ほ場成美事業地内発掘調査報告書	上越市教育委員会	18,6	205	
6780	中江北部第2地区ほ場成美事業地内発掘調査報告書2	上越市教育委員会	18,6	206	
6781	北峰遺跡発掘調査報告書	新潟県中頸城郡三和村教育委員会	18,6	207	
6782	落身遺跡発掘調査報告書	新潟県中頸城郡三和村教育委員会	18,6	208	
6783	前田遺跡発掘調査報告書	新潟県中頸城郡三和村教育委員会	18,6	209	
6784	市内遺跡発掘調査概要報告書	上越市教育委員会	18,6	210	
6785	中江北部第1地区ほ場整備事業地内発掘調査報告書3	上越市教育委員会	18,6	211	
6786	津有南部第1地区ほ場整備事業地内発掘調査報告書	上越市教育委員会	18,6	212	
6787	市内遺跡発掘調査概要報告書	上越市教育委員会	18,6	213	
6788	中江北部第1地区ほ場整備事業地内発掘調査報告書	上越市教育委員会	18,6	214	
6789	中江北部第2地区ほ場整備事業地内発掘調査報告書3	上越市教育委員会	18,6	215	
6790	津有南部第2地区ほ場整備事業地内発掘調査報告書3	上越市教育委員会	18,6	216	
6791	高土西部地区ほ場整備事業地内発掘調査報告書	上越市教育委員会	18,6	217	
6792	千代オオキダ遺跡	石川県小松市教育委員会	18,6	218	
6793	幸町遺跡II	石川県小松市教育委員会	18,6	219	
6794	小野遺跡	石川県小松市教育委員会	18,6	220	
6795	刀何理遺跡	石川県小松市教育委員会	18,6	221	
6796	小松市内遺跡発掘調査報告書II	石川県小松市教育委員会	18,6	222	
6797	額見町遺跡I	石川県小松市教育委員会	18,6	223	
6798	朽網南塚遺跡6(第1地点の調査)	北九州市芸術文化振興財団	18,7	224	
6799	朽網富宮遺跡	北九州市芸術文化振興財団	18,7	225	
6800	大手町遺跡第5地点	北九州市芸術文化振興財団	18,7	226	
6801	円光寺古墳	北九州市芸術文化振興財団	18,7	227	
6802	室町遺跡第6地点	北九州市芸術文化振興財団	18,7	228	
6803	志井雀木遺跡第2地点	北九州市芸術文化振興財団	18,7	229	
6804	長浜遺跡	北九州市芸術文化振興財団	18,7	230	
6805	長野フンダ遺跡4	北九州市芸術文化振興財団	18,7	231	
6806	小倉城二ノ丸家老屋敷跡第2地点	北九州市芸術文化振興財団	18,7	232	
6807	中貫ミカシキ遺跡4・真光寺遺跡2	北九州市芸術文化振興財団	18,7	233	
6808	猪の谷東遺跡	北九州市芸術文化振興財団	18,7	234	
6809	朽網南塚遺跡5(第1地点)	北九州市芸術文化振興財団	18,7	235	
6810	埋蔵文化財調査室年報22	北九州市芸術文化振興財団	18,7	236	
6811	研究紀要第20号	北九州市芸術文化振興財団	18,7	237	
6812	小敷城跡	北九州市芸術文化振興財団	18,7	238	
6813	京町遺跡第5地点	北九州市芸術文化振興財団	18,7	239	
6814	長野角屋敷遺跡4	北九州市芸術文化振興財団	18,7	240	
6815	丸ノ内遺跡(第4次調査)	北九州市芸術文化振興財団	18,7	241	
6816	室町遺跡第5地点	北九州市芸術文化振興財団	18,7	242	
6817	妻木畷田遺跡発掘調査研究年報2005	鳥取県教育委員会	18,7	243	
6818	竹田市立歴史資料館年報第5号	竹田市歴史資料館	18,7	244	
6819	大分県先哲叢書(堀佛古)	大分県先哲資料館	18,7	245	
6820	ふせん写真集	豊前市	18,7	246	
6821	大宰府茶坊跡30	大宰府市教育委員会	18,7	247	
6822	大宰府・佐野地区遺跡群22	大宰府市教育委員会	18,7	248	
6823	宝満山遺跡跡5	大宰府市教育委員会	18,7	249	
6824	馬場遺跡2	大宰府市教育委員会	18,7	250	
6825	大宰府・佐野地区遺跡群21	大宰府市教育委員会	18,7	251	
6826	歴史にすわる	九州産業大学美術館	18,7	252	
6827	大峰ヶ台遺跡III	松山市教育委員会	18,7	253	

寄贈番号	書名	寄贈者	受入年月日	18年度	備考
6828	番町遺跡	松山市教育委員会	18.7	254	
6829	東野お茶屋台遺跡第6次調査地	松山市教育委員会	18.7	255	
6830	KSUMUSEUM ANNUAL REPORT	松山市教育委員会	18.7	256	
6831	北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 第2号	北九州市自然史博物館	18.7	257	
6832	北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 第3号	北九州市自然史博物館	18.7	258	
6833	本庄・立屋敷遺跡 本庄・上ノ屋敷遺跡	築城町教育委員会	18.7	259	
6834	武蔵町の民俗	武蔵大学日本民俗史演習	18.7	260	
6835	高添遺跡	豊後大野市教育委員会	18.7	261	
6836	研究紀要第10号	下関市立考古博物館	18.7	262	
6837	下関市立考古博物館年報11	下関市立考古博物館	18.7	263	
6838	新米子の文化財	米子市教育委員会	18.7	264	
6839	諏訪西山ノ後遺跡	米子市教育文化事業団	18.7	265	
6840	埋蔵文化財調査室年報7	米子市教育文化事業団	18.7	266	2冊
6841	米子市内遺跡発掘調査報告書	米子市教育文化事業団	18.7	267	
6842	民具研究	日本民具学会	18.7	268	
6843	諏訪南山崎遺跡	米子市教育文化事業団	18.7	269	
6844	吉谷亀尾前遺跡 古市六反田遺跡	米子市教育文化事業団	18.7	270	
6845	諏訪東土取場遺跡 大殿下ノ原遺跡	米子市教育文化事業団	18.7	271	
6846	研究紀要 第10号	下関市立考古博物館	18.7	272	
6847	下関市立考古博物館年報11	下関市立考古博物館	18.7	273	
6848	高知県立歴史民俗資料館年報	高知県立歴史民俗資料館	18.7	274	
6849	古志遺跡	出雲市教育委員会	18.7	275	
6850	鹿蔵山遺跡	大社町教育委員会	18.7	276	
6851	出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書 第16集	出雲市教育委員会	18.7	277	
6852	茗ヶ原奥たたら跡	島根県出雲市教育委員会	18.7	278	
6853	宍丁田遺跡第3次発掘調査報告書	出雲市教育委員会	18.7	279	
6854	築山遺跡Ⅰ	出雲市教育委員会	18.7	280	
6855	九重町歴史資料館年報	九重町教育委員会	18.7	281	
6856	町田立村遺跡 岐部氏館跡	九重町教育委員会	18.7	282	
6857	西谷墳墓群	島根県出雲市教育委員会	18.7	283	
6858	畑ノ前遺跡	島根県出雲市教育委員会	18.7	284	
6859	若狭三方縄文博物館 年報6号	若狭三方縄文博物館	18.7	285	
6860	若狭三方縄文博物館 常設展示図録	若狭三方縄文博物館	18.7	286	
6861	岩門城跡	那珂川町教育委員会	18.7	287	
6862	安徳台遺跡	那珂川町教育委員会	18.7	288	2冊
6863	元興寺文化財研究N○87	元興寺文化財研究所	18.7	289	
6864	元興寺文化財研究N○88	元興寺文化財研究所	18.7	290	
6865	平城京右京北邊	元興寺文化財研究所	18.7	291	
6866	中の池遺跡 第12次調査	丸亀市教育委員会	18.7	292	
6867	執轡如組	元興寺文化財研究所	18.7	293	
6868	當麻寺の版木	元興寺文化財研究所	18.7	294	
6869	曲川遺跡発掘調査報告書	元興寺文化財研究所	18.7	295	
6870	大野城市の文化財 第38集	大野城市教育委員会	18.7	296	
6871	牛頭野添遺跡群Ⅲ	大野城市教育委員会	18.7	297	
6872	牛頭野添遺跡群Ⅳ	大野城市教育委員会	18.7	298	
6873	仲島遺跡ⅩⅡ	大野城市教育委員会	18.7	299	
6874	大分県埋蔵文化財年報14	大分県埋蔵文化財センター	18.7	300	
6875	上ノ原横穴墓群	大分県埋蔵文化財センター	18.7	301	
6876	豊後府内3	大分県埋蔵文化財センター	18.7	302	
6877	豊後府内4	大分県埋蔵文化財センター	18.7	303	
6878	豊後府内5	大分県埋蔵文化財センター	18.7	304	
6879	山脇横穴墓	大分県埋蔵文化財センター	18.7	305	
6880	大分県内遺跡発掘調査概報9	大分県埋蔵文化財センター	18.7	306	
6881	文化的景観(北山杉の林業景観)保存・活用事業報告書	文化庁	18.7	307	
6882	学術図書目録2006	日本図書センター	18.7	308	
6883	中込田遺跡Ⅲ	山口市教育委員会	18.7	309	
6884	山口市内遺跡詳細分布調査 名田島地区・秋穂二島地区	山口市教育委員会	18.7	310	
6885	山口市埋蔵文化財年報5	山口市教育委員会	18.7	311	
6886	宮地年神遺跡	八代市教育委員会	18.7	312	
6887	キリシタン寺院跡	八代市教育委員会	18.7	313	
6888	宮地池尻遺跡	八代市教育委員会	18.7	314	
6889	古麓城下遺跡	八代市教育委員会	18.7	315	
6890	九州歴史資料館 研究論集31	九州歴史資料館	18.7	316	2冊
6891	筑前若宮 清水寺	九州歴史資料館	18.7	317	
6892	九州歴史資料館年報	九州歴史資料館	18.7	318	
6893	熊本博物館館報	熊本博物館	18.7	319	
6894	八ツ戸遺跡	佐賀県小城町教育委員会	18.7	320	
6895	調査研究報告書 第1集	佐賀県小城市立歴史資料館	18.7	321	
6896	調査研究報告書 第6集	佐賀県小城市教育委員会	18.7	322	
6897	妙見遺跡、滝遺跡	佐賀県小城市教育委員会	18.7	323	
6898	織島東分下遺跡	佐賀県小城市教育委員会	18.7	324	
6899	赤司、戊、土生、深川南、赤司東遺跡	佐賀県三日月町教育委員会	18.7	325	
6900	久米遺跡 第2次	佐賀県三日月町教育委員会	18.7	326	
6901	久米遺跡 第3次	佐賀県三日月町教育委員会	18.7	327	
6902	久米遺跡 第4次	佐賀県三日月町教育委員会	18.7	328	
6903	西新町遺跡Ⅶ	福岡県教育委員会	18.7	329	
6904	山門前田遺跡	福岡県教育委員会	18.7	330	
6905	郡領ノ一遺跡	福岡県教育委員会	18.7	331	
6906	西牟田大立遺跡、西牟田北原遺跡、西牟田平野遺跡(2次)	福岡県教育委員会	18.7	332	
6907	海津横馬場遺跡Ⅱ	福岡県教育委員会	18.7	333	
6908	日詰遺跡Ⅲ	福岡県教育委員会	18.7	334	
6909	九州歴史資料館年報	九州歴史資料館	18.7	335	
6910	西都原古墳研究所・年報 第22号	宮崎県西都原市教育委員会	18.7	336	
6911	堂ヶ嶋遺跡、上妻遺跡、法元遺跡、童子丸遺跡、石貫遺跡	宮崎県西都原市教育委員会	18.7	337	
6912	都於郡城跡発掘調査概要報告書Ⅴ	宮崎県西都原市教育委員会	18.7	338	

寄贈番号	書名	寄贈者	受入年月日	18年度	備考
6913	市内遺跡発掘調査報告書Ⅰ	宮崎県西都原市教育委員会	18,7	339	
6914	西都原遺跡	宮崎県西都原市教育委員会	18,7	340	
6915	西都原地区遺跡Ⅱ	宮崎県西都原市教育委員会	18,7	341	
6916	高槻市文化財年報	高槻市教育委員会	18,7	342	
6917	史跡・今市塚古墳	高槻市教育委員会	18,7	343	
6918	博物館年報NO10	玉名市歴史博物館	18,7	344	
6919	大分市歴史資料館年報	大分市歴史資料館	18,7	345	
6920	ばいぬかじ(沖繩の風土と民具)	武蔵野美術大学	18,7	346	
6921	匠の技ー京都平野の名品展	行橋市教育委員会	18,7	347	
6922	佐伯市戦争遺跡	佐伯市教育委員会	18,7	348	
6923	菅生台地と周辺の遺跡ⅩⅦ	竹田市教育委員会	18,7	349	
6924	坂井田遺跡Ⅱ	筑前町教育委員会	18,7	350	
6925	竹田地区遺跡群・城下町遺跡群Ⅵ	竹田市教育委員会	18,7	351	
6926	城下町遺跡(下殿町御用屋敷)	竹田市教育委員会	18,7	352	
6927	城下町遺跡(虎屋敷)	竹田市教育委員会	18,7	353	
6928	古代社会を探る(環濠集落)	北筑後文化財行政連絡協議会	18,7	354	
6929	東京都江戸東京博物館研究報告第12号	江戸東京博物館	18,7	355	
6930	高松城跡(観跡)	高松市教育委員会	18,7	356	
6931	肥後の磁器(その歴史と系譜)	八代市立博物館	18,7	357	
6932	伝統文化No20	伝統文化活性化国民協会	18,7	358	3冊
6933	夜須町の考古学(弥生時代編)	夜須町教育委員会	18,7	359	
6934	長楽遺跡Ⅲ	河合町教育委員会	18,7	360	
6935	福井城跡Ⅴ	福井市教育委員会	18,7	361	
6936	平成15年度年報	福井市文化財保護センター	18,7	362	
6937	所報吉備	岡山県古代吉備文化財センター	18,7	363	
6938	美作・勝央 発掘ものがたり	岡山県古代吉備文化財センター	18,7	364	
6939	過去と未来を結ぶ道	岡山県古代吉備文化財センター	18,7	365	
6940	民具マンスリー 第39巻4号	神奈川大学日本常民文化研究所	18,7	366	
6941	民具マンスリー 第39巻5号	神奈川大学日本常民文化研究所	18,7	367	
6942	民具マンスリー 第39巻6号	神奈川大学日本常民文化研究所	18,7	368	
6943	民具マンスリー 第39巻7号	神奈川大学日本常民文化研究所	18,7	369	
6944	神奈川大学日本常民文化研究所	神奈川大学日本常民文化研究所	18,7	370	
6945	奥会津地方の職入巻物	神奈川大学日本常民文化研究所	18,7	371	
6946	藤坂古墳群Ⅲ	筑前町教育委員会	18,7	372	
6947	第17回スライド写真会	北筑後文化財行政連絡協議会	18,7	373	
6948	筑後川流域の弥生時代の村とくらし	北筑後文化財行政連絡協議会	18,7	374	
6949	竹ノ子遺跡	夜須町教育委員会	18,7	375	
6950	三国手遺跡	夜須町教育委員会	18,7	376	
6951	当町遺跡・出口遺跡Ⅱ	夜須町教育委員会	18,7	377	
6952	楮原下法寺遺跡、隈江橋木谷古墳	甘木市教育委員会	18,7	378	
6953	旧田代家住宅	甘木市教育委員会	18,7	379	
6954	平塚山の上遺跡Ⅱ	甘木市教育委員会	18,7	380	
6955	福田地区遺跡群	甘木市教育委員会	18,7	381	
6956	黒川黒松近世墓	甘木市教育委員会	18,7	382	
6957	宮野徳遺跡群	朝倉町教育委員会	18,7	383	
6958	甘木市文化財年報(平成15年度)	甘木市教育委員会	18,7	384	
6959	甘木市文化財年報(平成16年度)	甘木市教育委員会	18,7	385	
6960	平塚川添遺跡Ⅱ	甘木市教育委員会	18,7	386	
6961	おおいの野鳥	日本野鳥の会大分県支部	18,7	387	
6962	研究紀要 第12号	千葉市立郷土博物館	18,7	388	
6963	平成17年度 大分県立芸術会館年報	大分県立芸術会館	18,7	389	
6964	国立歴史民俗博物館年報2	国立歴史民俗博物館	18,7	390	
6965	伝統文化をこどもに	伝統文化活性化国民協会	18,7	391	
6966	文明のクロスロード	博物館等建設推進九州会議	18,7	392	
6967	読谷村立歴史民俗資料館年報	読谷村立歴史民俗資料館	18,7	393	
6968	読谷村立歴史民俗資料館紀要第30号	読谷村立歴史民俗資料館	18,7	394	
6969	館報No1	埼玉県立さきたま史跡の博物館	18,7	395	
6970	調査研究報告第19号	埼玉県立さきたま資料館	18,7	396	
6971	総社し理蔵文化財調査年報15	総社市教育委員会	18,7	397	
6972	日本民俗学247	日本民俗学会	18,7	398	
6973	神宮太郎丸遺跡	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	399	
6974	正徳ヶ森城跡	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	400	
6975	千足遺跡	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	401	
6976	下川遺跡	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	402	
6977	松原遺跡	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	403	
6978	角ヶ谷城跡	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	404	
6979	高橋仏師Ⅱ遺跡	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	405	
6980	高地スゴ谷Ⅰ遺跡、高地栗谷4遺跡、阿方牛ノ江Ⅰ～Ⅳ遺跡	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	406	
6981	馬超和多地遺跡2次	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	407	
6982	愛比売	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	408	
6983	紀要愛媛 第6号	愛媛県埋蔵文化財センター	18,7	409	
6984	平成17年度 福岡市埋蔵文化財センター年報	福岡市教育委員会	19,1	410	
6985	鬼津横穴墓群	遠賀町教育委員会	19,2	411	
6986	石動西一本杉遺跡第4地区	吉野ヶ里町教育委員会	19,2	412	
6987	陶損 第19号	山口県埋蔵文化財センター	19,2	413	
6988	宇佐・国東・速見の歴史	郷土出版社	19,2	414	
6989	日本民俗学 248	日本民俗学会	19,2	415	
6990	世界遺産 年報2007	日本ユネスコ協会連盟	19,2	416	2冊
6991	塔ノ熊鷹寺	中津市教育委員会	19,2	417	
6992	黒水遺跡拜香地区	中津市教育委員会	19,2	418	
6993	定留遺跡 八反ガソウ地区	中津市教育委員会	19,2	419	
6994	中津城本丸南西石垣	中津市教育委員会	19,2	420	
6995	アイヌ文様の美	北海道近代美術館	19,2	421	
6996	南筑後の歴史	郷土出版社	19,2	422	
6997	四国 弥生の宝物	松山市教育委員会	19,2	423	

寄贈番号	書名	寄贈者	受入年月日	18年度	備考
6998	東石井遺跡 西石井遺跡	松山市教育委員会	19,2	424	
6999	松山市埋蔵文化財調査年報 18	松山市教育委員会	19,2	425	
7000	上荊屋遺跡	松山市教育委員会	19,2	426	
7001	み仏の美とかたち	大分県立歴史博物館	19,2	427	2冊
7002	東外遺跡	東脊振村教育委員会	19,2	428	
7003	西前田遺跡	東脊振村教育委員会	19,2	429	
7004	大曲遺跡Ⅰ	東脊振村教育委員会	19,2	430	
7005	大曲遺跡Ⅱ	東脊振村教育委員会	19,2	431	
7006	やしろ山遺跡	東脊振村教育委員会	19,2	432	
7007	亀作A遺跡	東脊振村教育委員会	19,2	433	
7008	石動二本松遺跡第5地区	東脊振村教育委員会	19,2	434	
7009	平成6・7年度東脊振村内文化財調査報告書	東脊振村教育委員会	19,2	435	
7010	松原遺跡4・5・6区	東脊振村教育委員会	19,2	436	
7011	松原遺跡7区	東脊振村教育委員会	19,2	437	
7012	松原遺跡8区	東脊振村教育委員会	19,2	438	
7013	松原遺跡10区	東脊振村教育委員会	19,2	439	
7014	瀬ノ尾遺跡	東脊振村教育委員会	19,2	440	
7015	西石動古墳群第3地区	東脊振村教育委員会	19,2	441	
7016	大曲A遺跡第3地区	東脊振村教育委員会	19,2	442	
7017	石動四本松遺跡第4地区	東脊振村教育委員会	19,2	443	
7018	松本遺跡第4地区	東脊振村教育委員会	19,2	444	
7019	石動四本松遺跡第5地区	東脊振村教育委員会	19,2	445	
7020	三股町内遺跡Ⅳ	宮崎県三股町教育委員会	19,2	446	
7021	文化財学への挑戦	別府大学	19,2	447	
7022	大江前遺跡	佐賀県教育委員会	19,2	448	
7023	浦番所その実態	沖崎信博	19,2	449	3冊
7024	山川町文化財分布地図	福岡県山川町教育委員会	19,3	450	
7025	「ミュージアム戦略とマーケティング」シンポジウム事業報告書	日本ミュージアムマネージメント学会	19,3	451	
7026	薩摩川内市川内歴史資料館年報 平成17年度	薩摩川内市川内歴史資料館	19,3	452	
7027	幕末と明治の博物館報 第9号	幕末と明治の博物館	19,3	453	
7028	イモジB遺跡	山川町教育委員会	19,3	454	
7029	山ノ上遺跡	山川町教育委員会	19,3	455	
7030	やまかわ100年のあゆみ	山川町教育委員会	19,3	456	
7031	首都圏中央連絡自動車道 埋蔵文化財調査報告書5	国土交通省	19,3	457	
7032	文化財学への挑戦	別府大学	19,3	458	3冊
7033	つかむ・すくう・たべる 東アジアの〈箸と匙〉の歴史と文化	別府大学	19,3	459	2冊
7034	別府大学付属博物館だより	別府大学	19,3	460	
7035	原田第1・2・40・41号墓地 下巻	筑紫野市教育委員会	19,3	461	
7036	日焼遺跡2	筑紫野市教育委員会	19,3	462	
7037	椰野遺跡	筑紫野市教育委員会	19,3	463	
7038	長道遺跡	筑紫野市教育委員会	19,3	464	
7039	原遺跡2	筑紫野市教育委員会	19,3	465	
7040	竹飯地区遺跡	高田町教育委員会	19,3	466	
7041	友貞遺跡	佐賀市教育委員会	19,3	467	
7042	石井樋	佐賀市教育委員会	19,3	468	
7043	国立歴史民俗博物館研究報告133集	国立歴史民俗博物館	19,3	469	
7044	総社市埋蔵文化財調査年報16	総社市教育委員会	19,3	470	
7045	築山遺跡2	佐賀市教育委員会	19,3	471	
7046	納所遺跡2	佐賀市教育委員会	19,3	472	
7047	徳富権現堂遺跡・徳富本村遺跡	佐賀市教育委員会	19,3	473	
7048	徳永遺跡11区	佐賀市教育委員会	19,3	474	
7049	東古河遺跡4	佐賀市教育委員会	19,3	475	
7050	佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書	佐賀市教育委員会	19,3	476	
7051	藤木三本杉遺跡Ⅰ	佐賀市教育委員会	19,3	477	
7052	北向遺跡 発掘調査報告書	山形市	19,3	478	
7053	梅野木前1遺跡	山形市	19,3	479	
7054	東名遺跡	国土交通省佐賀川総合開発工事事務所	19,3	480	
7055	木屋瀬宿東横口跡第2次調査	北九州市教育委員会	19,3	481	
7056	高見遺跡第3地点	北九州市教育委員会	19,3	482	
7057	野原遺跡Ⅱ	熊本県球磨郡相良村教育委員会	19,3	483	
7058	西ソノ遺跡(第2次調査)	北九州市教育委員会	19,3	484	
7059	稗田川遺跡第2地点・中島遺跡第3次調査	北九州市教育委員会	19,3	485	
7060	小倉城二ノ丸家老屋敷跡1	北九州市教育委員会	19,3	486	
7061	京都府埋蔵文化財情報 第101号	京都府埋蔵文化財センター	19,3	487	
7062	第41回 全国史跡整備市町村協議会 大会議事録	全国史跡整備市町村協議会	19,3	488	
7063	佐賀県埋蔵文化財確認調査報告書	佐賀市教育委員会	19,3	489	
7064	山形市埋蔵文化財調査年報	山形市教育委員会	19,3	490	
7065	双葉町遺跡・城南町遺跡	山形市教育委員会	19,3	491	
7066	研究紀要 第9号	下関考古博物館	19,3	492	
7067	館報(自然史部門)第39号	日田市立博物館	19,3	493	
7068	埋蔵文化財関係統計資料	文化庁文化財部記念物課	19,3	494	
7069	文化財建造物保存技術協会年報	文建協	19,3	495	
7070	民具マンスリー 第39巻 8号 9号 10号 11号	神奈川大学日本常民文化研究所	19,3	496	
7071	八日市地方遺跡	石川県小松市教育委員会	19,3	497	
7072	吉武遺跡群Ⅷ	福岡市教育委員会	19,3	498	
7073	吉塚祝町2	福岡市教育委員会	19,3	499	
7074	福岡市埋蔵文化財年報 VOⅠ19	福岡市教育委員会	19,3	500	
7075	広瀬遺跡3	福岡市教育委員会	19,3	501	
7076	藤崎遺跡16	福岡市教育委員会	19,3	502	
7077	千隈古墳群	福岡市教育委員会	19,3	503	
7078	南八幡遺跡7	福岡市教育委員会	19,3	504	
7079	三苦遺跡群6	福岡市教育委員会	19,3	505	
7080	席田大谷遺跡群6	福岡市教育委員会	19,3	506	
7081	夫婦塚古墳2	福岡市教育委員会	19,3	507	
7082	元岡・桑原遺跡群6	福岡市教育委員会	19,3	508	

寄贈番号	書名	寄贈者	受入年月日	18年度	備考
7083	元岡・桑原遺跡群7	福岡市教育委員会	19,3	509	
7084	福岡市・釜山広域市 文化財担当者交流事業報告書	福岡市教育委員会	19,3	510	
7085	広瀬遺跡2・上広瀬遺跡1	福岡市教育委員会	19,3	511	
7086	比恵44	福岡市教育委員会	19,3	512	
7087	比恵43	福岡市教育委員会	19,3	513	
7088	比恵42	福岡市教育委員会	19,3	514	
7089	麦野C遺跡 第10次調査報告	福岡市教育委員会	19,3	515	
7090	箱崎25	福岡市教育委員会	19,3	516	
7091	博多109	福岡市教育委員会	19,3	517	
7092	博多108	福岡市教育委員会	19,3	518	
7093	博多107	福岡市教育委員会	19,3	519	
7094	博多106	福岡市教育委員会	19,3	520	
7095	中村町遺跡2	福岡市教育委員会	19,3	521	
7096	那珂44	福岡市教育委員会	19,3	522	
7097	那珂43	福岡市教育委員会	19,3	523	
7098	那珂42	福岡市教育委員会	19,3	524	
7099	那珂41	福岡市教育委員会	19,3	525	
7100	東原稲葉遺跡1	福岡市教育委員会	19,3	526	
7101	田島A遺跡2	福岡市教育委員会	19,3	527	
7102	住吉神社遺跡1	福岡市教育委員会	19,3	528	
7103	周船寺遺跡7	福岡市教育委員会	19,3	529	
7104	周船寺遺跡6	福岡市教育委員会	19,3	530	
7105	下月隈C遺跡VI	福岡市教育委員会	19,3	531	
7106	重留村下遺跡3	福岡市教育委員会	19,3	532	
7107	山王遺跡2	福岡市教育委員会	19,3	533	
7108	山王遺跡1	福岡市教育委員会	19,3	534	
7109	鎌船隈遺跡6	福岡市教育委員会	19,3	535	
7110	コノリ遺跡2	福岡市教育委員会	19,3	536	
7111	鴻臚館16	福岡市教育委員会	19,3	537	
7112	金武3	福岡市教育委員会	19,3	538	
7113	那珂君休遺跡Ⅷ	福岡市教育委員会	19,3	539	
7114	今宿五郎江5	福岡市教育委員会	19,3	540	
7115	有田・小田部42	福岡市教育委員会	19,3	541	
7116	有田・小田部41	福岡市教育委員会	19,3	542	
7117	有田・小田部40	福岡市教育委員会	19,3	543	
7118	大友府内7	大分市教育委員会	19,3	544	
7119	大友府内8	大分市教育委員会	19,3	545	
7120	大分市 市内遺跡確認調査概要2005	大分市教育委員会	19,3	546	
7121	大分市埋蔵文化財調査年報2004	大分市教育委員会	19,3	547	
7122	府内城・城下町跡 第12次調査報告書	大分市教育委員会	19,3	548	
7123	玉沢地区条里跡 第7次発掘調査報告	大分市教育委員会	19,3	549	
7124	南金池遺跡	大分市教育委員会	19,3	550	
7125	宮苑井ノ口遺跡	大分市教育委員会	19,3	551	
7126	下郡遺跡Ⅳ	大分市教育委員会	19,3	552	
7127	若宮八幡宮遺跡 第1次調査	大分市教育委員会	19,3	553	
7128	日本民俗学249	日本民俗学会	19,3	554	

# IX 国東市歴史体験学習館条例・規則

## 国東市歴史体験学習館条例

(平成18年3月31日)  
条例117号

(設置)

**第1条** 史跡安国寺集落遺跡の保存及び活用を図るとともに、市民にこれと親しむ場を提供し、もって教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、歴史体験学習館を設置する。

(名称及び位置)

**第2条** 歴史体験学習館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- 1 名称 国東市歴史体験学習館
- 2 位置 国東市国東町安国寺1639番地2  
(構成)

**第3条** 国東市歴史体験学習館(以下「体験学習館」という。)は、体験学習施設及び弥生のムラ安国寺集落遺跡(以下「弥生のムラ」という。)をもって構成し、次に掲げる施設を置く。

- 1 体験学習施設 学習館及び発掘体験舎
- 2 弥生のムラ 復元建物広場、生産広場、土舞台その他必要な施設  
(管理)

**第4条** 体験学習館は、国東市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。  
(事業)

**第5条** 体験学習館は、次に掲げる事業を行う。

- 1 史跡安国寺集落遺跡及びその周辺地域の環境を保全し、及び活用すること。
- 2 国東市及び周辺地域に関する歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- 3 古代の人々の歴史、生活及び文化に触れる体験学習の実施に関すること。
- 4 歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- 5 歴史資料等に関する知識の普及及び啓発に関すること。
- 6 学校、図書館、公民館その他教育、学術又は文化に係る諸施設との協力及びその活動の援助に関すること。
- 7 前各号に掲げる事業のほか、体験学習館の目的を達成するために必要な事業  
(職員)

**第6条** 体験学習館に、館長その他必要な職員を置く。  
(利用の申込み等)

**第7条** 体験学習館(弥生のムラを除く。)を利用しようとする者は、受付で口頭により利用を申し込まなければならない。

2 弥生のムラを利用しようとする者は、利用しようとする日の10日前までに館長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

3 館長は、弥生のムラの管理上必要があると認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。

(行為の制限等)

**第8条** 体験学習館において、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、第4号及び第5号に掲げる行為については、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

- 1 酒気を帯び、又は暴力を振るう等他人に迷惑を及ぼす行為
  - 2 危険物、動物その他他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる物を持ち込むこと。
  - 3 定められた場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用すること。
  - 4 宣伝、物品の販売、募集その他これらに類する行為をすること。
  - 5 体験学習館の資料を模写し、又は撮影すること。
  - 6 前各号に掲げるもののほか、館長が、体験学習館の管理上必要を認めて禁止する行為
- 2 館長は、前項の規定に違反した者に対して、退去を命ずることができる。

(利用許可の取消し)

**第9条** 館長は、弥生のムラの利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可を取り消し、行為の中止、原状回復及び施設からの退去を命ずることができる。

- 1 偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。
  - 2 公の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
  - 3 前2号に掲げる場合のほか、館長が必要と認めるとき。
- 2 前項の措置によって利用者が受けた損失については、市は、賠償の責めを負わない。

(使用料)

**第10条** 体験学習施設を利用しようとするものは、別表に定める使用料を納付しなければならない。

(使用料の減免)

**第11条** 市長は、必要があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

**第12条** 既に徴収した使用料は、還付しない。ただし、相当の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償の義務)

**第13条** 体験学習館の資料及び施設を損傷し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

**第14条** 体験学習館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、体験学習館の行う事業等について館長に対して意見を述べるため、法第20条の規定により、体験学習館に国東市歴史体験学習館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内をもって組織する。

3 委員の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

**第15条** この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(過料)

**第16条** 詐欺その他不正の行為により、この条例に定める使用料の徴収を免れた者については、その免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月31日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の国東市歴史体験学習館の設置及び管理に関する条例(平成13年国東市条例第6号。以下「合併前の条例」という。)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

3 施行日の前日までの利用許可に係る合併前の条例の規定による使用料については、なお合併前の条例の例による。

4 施行日の前日までにした行為に対する罰則の適用については、なお合併前の条例の例による。

別表(第10条関係)

体験学習施設使用料

使用料の名称	区 分	単 位	金 額	備 考	
観 覧	常 設 展 示	個 人 一般・大学生・高校生	1人 1回	200円	1 「一般・大学生・高校生」とは、大人、大学の学生、高等専門学校の学生、高等学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。 2 「中学生・小学生」とは、中学校の生徒、小学校の児童及びこれらに準ずる者をいう。 3 「団体」とは、20人以上のものをいう。
		中 学 生 ・ 小 学 生	”	100円	
		団 体 一般・大学生・高校生	”	150円	
		中 学 生 ・ 小 学 生	”	50円	
	特 別 展 示	個 人 一般・大学生・高校生	”	その都度市長が定める額	
		中 学 生 ・ 小 学 生	”		
団 体 一般・大学生・高校生	”	”	”		
	中 学 生 ・ 小 学 生			”	

注 体験学習に係る原材料費等の経費は、利用者負担とする。

## 国東市歴史体験学習館条例施行規則

(平成18年3月31日)  
教育委員会規則第30号

目次

- 第1章 総則(第1条)
- 第2章 組織(第2条—第6条)
- 第3章 運営(第7条—第19条)
- 第4章 国東市歴史体験学習館協議会(第20条—第22条)
- 第5章 雑則(第23条)

附 則

第1章 総則

(趣旨)

**第1条** この規則は、国東市歴史体験学習館条例(平成18年国東市条例第117号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第2章 組織

(係の設置)

**第2条** 国東市歴史体験学習館（以下「体験学習館」という。）に管理係及び学芸調査係を置く。

（分掌事務）

**第3条** 管理係においては、次の事務をつかさどる。

- 1 公印の保管に関すること。
  - 2 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
  - 3 職員の身分及び服務に関すること。
  - 4 予算の執行等に関すること。
  - 5 国東市歴史体験学習館協議会に関すること。
  - 6 関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること。
  - 7 施設及び設備（史跡公園安国寺集落遺跡を含む。）の維持管理に関すること。
  - 8 施設及び設備の利用に関すること。
  - 9 前各号に掲げるもののほか、学芸調査係の所掌に属さない事項に関すること。
- 2 学芸調査係においては、次の事務をつかさどる。
- 1 歴史資料、考古資料、民俗資料等（以下「歴史資料等」という。）の収集、整理及び保管に関すること。
  - 2 体験学習の企画及び実施に関すること。
  - 3 常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
  - 4 史跡公園安国寺集落遺跡の保全及び活用に関すること。
  - 5 歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
  - 6 歴史、考古、民俗等（以下「歴史等」という。）についての講演会、講習会及び研究会の開催に関すること。
  - 7 市民の歴史等に関する調査研究活動の援助に関すること。
  - 8 学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
  - 9 歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

（職員の内職）

**第4条** 体験学習館の職員の内職として、次の職を置く。

- 1 館長
- 2 副館長
- 3 係長
- 4 学芸員
- 5 研究員
- 6 主査、主任又は主事
- 7 指導員
- 8 管理員

（職員の内職）

**第5条** 館長は、上司の命を受け、体験学習館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

- 2 副館長は、館長を補佐し、体験学習館の事務を処理する。
- 3 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
- 4 学芸員及び研究員は、上司の命を受け、体験学習の企画及び実施に関する事務並びに歴史資料の収集、保管、展示その他これと関連する専門的業務並びに歴史資料等の調査研究及び教育啓蒙に関する事務を処理する。
- 5 主査、主任及び主事は、上司の命を受け、事務に従事する。
- 6 指導員は、上司の命を受け、体験学習の指導に従事する。
- 7 管理員は、上司の命を受け、体験学習館の管理に従事する。

（職員の内職）

**第6条** 職員の内職は、別に定める。

### 第3章 運営

（開館時間）

**第7条** 体験学習館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、体験学習館を利用しようとする者が入館できる時間は、午後4時30分までとする。

（休館日）

**第8条** 体験学習館施設の休館日は、次のとおりとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、教育長の承認を受けてこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- 1 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる場合は、その日後において、その日に最も近い休日でない日（土曜日及び日曜日を除く。）
  - 2 休日の翌日（その日が休日に当たる場合は、その日後において、その日に最も近い休日でない日（土曜日及び日曜日を除く。）
  - 3 12月29日から翌年の1月4日までの日（前2号に掲げる日を除く。）
  - 4 特別整理期間として、年間30日以内で館長が定める日
- 2 弥生のムラは、12月29日から翌年の1月4日までの間は閉館するものとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、教育長の承認を受けてこれを変更し、又は臨時に閉館することができる。

（利用の許可の申請）

**第9条** 条例第7条第2項の規定により弥生のムラの利用の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、弥生のムラ利用許可申請書（様式第1号）を館長に提出しなければならない。

2 前項に規定する利用の許可の申請は、利用しようとする日の3箇月前からすることができる。

（利用許可書の交付）

**第10条** 館長は、弥生のムラの利用を許可したときは、弥生のムラ利用許可書（様式第2号）を申請者に交付する。

（利用者の遵守事項）

**第11条** 利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 1 関係職員の指示に従うこと。
- 2 体験学習館における秩序の保持・保全に万全を期すこと。

（利用者の義務）

**第12条** 利用者は、各施設、展示品等を汚損し、又は損傷したときは、直ちに館長に報告し、汚損・損傷の届出書（様式第3号）を提出しなければならない。

2 市長は、前項の届出があったときは、損害の賠償を求めることができる。

（使用料の納期）

**第13条** 利用者は、入館の際に条例第10条に規定する使用料を納付しなければならない。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、館長の指定する日までに納付することができる。

（歴史資料等の閲覧）

**第14条** 館長は、調査研究に供するため必要と認めるときは、次に掲げる場合を除き、歴史資料等を閲覧させることができる。

- 1 歴史資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。
  - 2 歴史資料等が展示されているとき。
  - 3 前2号に掲げる場合のほか、館長が不適当と認めるとき。
- 2 歴史資料等の閲覧を受けようとするものは、歴史資料等閲覧申請書（様式第4号）により館長に閲覧の許可を申請し、その許可を受けなければならない。

（歴史資料等の館外貸出し）

**第15条** 歴史資料等は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、博物館、図書館、学校その他のもので館長が適当と認めるものについては、この限りでない。

2 歴史資料等の館外貸出しを受けようとする者は、歴史資料等館外貸出申請書（様式第5号）により館長に館外貸出しの許可の申請をしなければならない。

3 前項に規定する申請があった場合は、館長は、その適否を審査し、適当と認めるときは、歴史資料等館外貸出許可書（様式第6号）を当該申請した者に交付し、館外貸出しを許可するものとする。

（歴史資料等の寄贈等）

**第16条** 体験学習館に歴史資料等を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長に申し出るものとする。

（歴史資料等の寄託）

**第17条** 体験学習館に歴史資料等を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長に申し出るものとする。

（使用料の減免の申請）

**第18条** 使用料の減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ学習館使用料減免申請書（様式第7号）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請を承認したときは、学習館使用料減免決定通知書（様式第8号）を交付する。

（使用料の還付の申請）

**第19条** 条例第12条ただし書の規定により使用料の還付を受けようとする者は、学習館使用料還付申請書（様式第9号）を市長に提出しなければならない。

## 第4章 国東市歴史体験学習館協議会

（会長及び副会長）

**第20条** 国東市歴史体験学習館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、協議会の委員の互選による。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

**第21条** 会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

**第22条** 協議会の庶務は、体験学習館において処理する。

## 第5章 雑則

（その他）

**第23条** この規則に定めるもののほか、体験学習館の運営等に関し必要な事項は、館長が定める。

### 附則

（施行期日）

1 この規則は、平成18年3月31日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の国東町歴史体験学習館管理運営規則（平成13年国東町教育委員会規則第8号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

様式第1号(第9条関係)

会生のムフ利用許可申請書

利用施設	
利用日時	年 月 日 日 時 分
利用目的	
参加予定人数	
責任者	住所 氏名 電話
電気施設 利用の有無	有・無

国東市歴史体験学習館条例施行規則に基づき、上記のとおり利用許可を申請いたします。  
なお、この申請により利用許可を受けた場合は、条例、規則及び指示事項を確実に履行します。

年 月 日  
申請者 住所  
氏名  
電話番号

国東市歴史体験学習館長 様

様式第2号(第10条関係)

会生のムフ利用許可書

年 月 日

申請者

国東市歴史体験学習館

印

付けでありました申請について下記のとおり許可します。  
記

- 1 利用施設  
又は区域
- 2 利用日時
- 3 利用目的
- 4 参加予定人数

- 5 備 考 国東市歴史体験学習館条例施行規則を遵守すること。  
善良な利用者として注意義務を守り利用すること。

- ※ 注意事項 (1) 高圧住居の内部に入らないでください。  
(2) 一般入館者の見学を阻害しないでください。  
(3) 火筒の中には入らないでください。  
(4) 園内美化に協力(ゴミの持ち帰り等)をしてください。  
(5) その他職員員の指示に従ってください。

様式第3号(第12条関係)

汚損・損傷の届出書

年 月 日

国東市歴史体験学習館長 様

届出者 住所  
氏名  
電話番号

下記施設を損傷させましたので、国東市歴史体験学習館条例施行規則に基づき届出をす  
るとともに、原状に回復することを誓います。

記

- 1 汚損・損傷・被災施設名

様式第4号(第14条関係)

歴史資料等閲覧申請書

年 月 日

国東市歴史体験学習館長 様

申請者 住所(所在地) \_\_\_\_\_  
氏名(名称) \_\_\_\_\_  
(代表者名) 印 \_\_\_\_\_  
(連絡先電話) \_\_\_\_\_

下記の資料を閲覧したいので、国東市歴史体験学習館条例施行規則第14条の規定により  
下記のとおり申請します。

記

閲覧目的				
閲覧資料名	資料番号	数	量	備 考

様式第6号(第15条関係)

歴史資料等館外貸出申請書

年 月 日

国東市歴史体験学習館長 様

申請者 住所(所在地)  
氏名(名称)  
(代表者名) 印  
(連絡先電話)

国東市歴史体験学習館所蔵の体験館資料の貸出を受けたいので国東市歴史体験学習館条例施行規則第15条第2項の規定により下記のとおり申請します。

記

利用目的			
貸出期間			
利用場所			
利用方法			
貸出資料名	資料番号	数 量	備 考
輸送方法			
取扱責任者			

様式第7号(第18条関係)

学習館使用料減免申請書

年 月 日

国東市長 様

申請者 住所(所在地)  
氏名(名称)  
(代表者名) 印  
(連絡先電話)

国東市歴史体験学習館の使用料の減額・免除を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

減額・免除申請の理由			
入館年月日	年 月 日(曜日)		
在館時間	午前・午後	時	分から
	午前・午後	時	分まで
入館者数	人		
引率者氏名			

様式第8号(第18条関係)

学習館使用料減免決定通知書

第 号  
年 月 日

様

国東市長 印

年 月 日付けで申請がありました国東市歴史体験学習館の使用料の減額・免除について、次のとおり減額・免除します。

減額・免除申請の理由			
入館年月日	年 月 日(曜日)		
在館時間	午前・午後	時	分から
	午前・午後	時	分まで
入館者数	人		
引率者氏名			
使用料	金 額	算出基礎	
減額・免除の額	円		
総引納仕額	円		
納付日	年 月 日		

様式第9号(第19条関係)

学習館使用料還付申請書

年 月 日

国東市長 様

住所(団体名)  
申請者 氏名(代表者) 印  
電話

次のとおり、国東市歴史体験学習館の使用料の還付を申請します。

許可番号	第 号
許可年月日	年 月 日
利用を取りめた施設	
理 由	
既納の使用料	円
還付申請額	円
還付金額	円
備 考	

国東市歴史体験学習館年報 第6号

発行日 平成19年3月(2007)

発行 国東市歴史体験学習館  
〒873-0504 国東市国東町大字安国寺1639-2  
TEL 0978-72-2677  
FAX 0978-72-2505

ホームページアドレス：<http://www.city.kunisaki.oita.jp/yayoinomura/top.html>

印刷 明治印刷株式会社